京城日報 (年中無休刊)

本紙購讀料 一ヶ月金壹圓 … 廣告料 …
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

十一月三日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

對勃條約討議

講和最高會議は本月一日對勃條約を討議せり（巴里電報）

獨艦處分決定

講和最高會議は獨艦處分を決定し日本は巡洋艦數隻の分與を受くべし（巴里電報）

過激派トボリスク占領

トボリスクは遂に過激派の手に歸せり（オムスク電報）

支那兵數制限

支那政府は全國兵數を六十個師團に制限し過剩員は道路水利等の修築に使用すべし（北京電報）

軍政府内閣改組反對

廣東軍政府は新内閣正式組織に關し此際内閣を改組するは一般の疑惑を招き南北和平進行上害ありとの故を以て反對電報を北京に送り來れり（北京電報）

西北軍入蒙反對

西北邊防總司令徐樹錚氏が西北軍全部を外蒙古に駐在せしむる事に付活佛に同意を求めたるに活佛は三十日電報を送りて曰く『西北軍の外蒙駐在は種々の故障の生ずる憂ありも訓練を經れば充分用ふるに足る西北軍全部を送ることに反對す』と（北京電報）

東清運賃變更 各方面抗議の結果

東清鐵道は運賃改正の結果十一月一日以降ゴールドルーブルを標準としロマノフに限り受入れを爲しケレンスキー及び西伯利紙幣の受け入れを拒絶する旨告示したるが各方面の猛烈なる抗議により遂に十月二十八日附を以て鐵道廳に於て決定したる旨によりケレンスキー及び西伯利紙幣をも受け入るゝ事と變更の旨發表するに至れり（哈爾賓電報）

煙草値上説

政府にては更に煙草値上に就き協議中なりとの説あり（東京特電）

通貨十二億圓

十月三十日の日本銀行帳尻は發行高十二億零百萬圓にして前日に比し發行高五千二百萬圓を減少し貸出高は千六百萬圓を增加せり（東京電報）

山東問題憂ふるに足らず

米國上院に於ける留保案の大勢既に定まり一方各大國の批准寄託既に終了して愈々講和條約實施の時代に入ると共に平和克復後最初の事業として我國の考慮すべき一事は山東問題に關する日支間の交渉なるが如何せん本問題は講和議場に於ける既往の如き行懸りを受けたる爲め其の前途は可なりに厄介視されつゝあり支那一部の狂騷政客は無理押しにも本問題を直接國際聯盟會議に提出すべきを主張し居れども國際聯盟會議は之に對し門前拂ひを喰はしめざる迄もその上程後の結果が帝國の勝利に終るべきは明々一點の疑ふべきなく消息通間に於ては殆ど之を問題視し居らず然も無責任なる一部政客の放言は兎に角として責任ある北京政府當局が一應日支間の交渉を開くことなく直ちに國際聯盟に持ち出すの暴擧に出づるや否やは多大の疑問を以て目せられ居れりウイルソン大統領は山東條項を認めたる理由として自ら本條項の正當なるを認むるにあらざるも講和會議開始後英佛伊三國が國家の體面上より日本と秘密條約を結べるを發見し右三國が山東問題に關して日本に關する日本の主張を支持すべきを思ひ已むなく之れを贊成せりと各地に演說したる爲め共和黨は之を駁し事實は更に角吾人は大統領自ら其の正當なるを認めざる山東條項を認むる能はずと稱し遂に今次の留保案となれるものなれども此の如く多少にても支那の主張を支持せんとするは一米國あるのみにして英佛伊三國が山東條項に於て日本を支持するは其後依然として變る所なければ縱令本問題にして國際聯盟總會議に上りたればとて毫も憂ふるの必要なし而して條約效力發生後如何なる日時、方法を以て山東問題に關する對支交渉を開始するやは猶ほ未だ當局の考慮中に在りて具體的の決定を見居らず

滿鐵社長訓示

野村滿鐵社長は一日會社給與改正に關し左の如き訓示を試みたり

社員諸君に告ぐ

比年物價騰貴し生活上の困難漸く甚しきものありしも諸君は堅忍克く之に耐へ忠實社務に盡瘁して敢て苟くも濫る所無かりしは本職の深く多とする所なり然れども之を現時の情勢に觀るに荏苒今日の給與制度に放置すること能はず是を以て本職就任以來夙に之が改正の途を講じ慎重調査を遂げ今日茲に之を施行することを得るに至りたるは本職の最も欣快とする所なり

今次の給與改正は啻に給與の增加を計り且其の均衡宜しきを制することに期したるのみならず更に社員將來の爲にも亦深く圖る所あらむとす本日附を以て通達せる本俸在勤手當等の改正に引續き近く改定すべき諸手當並に退職手當等皆此趣旨に依りて之を改むべし其の新に家族手當を設け消費組合を創設して之に多額の補給金を交付することゝしたるもの亦一に意を社員生活の安易に盡さむとするの趣意に出づ

抑も我會社の使命に就ては夙に諸君の熟知せらるゝ所、我會社の職に從ふ者の責務の重大なる固より言ふを須ひず今我會社が諸君の生活上の安易と將來の計とを完うせしめむとしたるは又一に諸君にして後顧の憂を絶ち專心一意益々社務に精勵し以て會社の使命を全うし報國の成果を奏せしめむとする意に外ならず今や平和的國際競爭是れより益々劇甚ならんとし時局の推移亦大に戒心すべきもの有り是の時に方り日本國民たる者一人たりとも遊惰放逸なる者あるを容す可からず殊に我會社の使命に顧るときは會社の業務に從ふ者焉んぞ能く一身の逸樂を求むることを得んや本日給與實施と共に社員執務時間の延長を發表せるも亦此趣旨に依れるものなり本職は諸君の愛國の至情に信頼し諸君が自ら奮つて克く本職の所志に副ひ其の國家に負へる責務に鑑み其の奉公の誠を傾け粉骨碎身以て其の功率を高むることに努めらるゝことを期待するものなり

本職は更に此機會に於て諸君が堅實にして節制ある生活を營み益々智識技能の修養を努めて能く時勢の進運に後れざらんことを希望して已まず、若夫れ諸君にして儉素の良習を破り世間の惡風に追隨し生活の資を空費して一身の攝養を忘り一家の治產を忽にするが如きことあらば是れ獨り本職の社員厚遇の趣旨に背くのみならず又實に會社の使命を全うする所以にあらざるなり、本職は玆に諸君が能く本職の微意の存する所を諒し皆其の心を一にし之を小にしては一身一家を齊へ之を大にしては會社の使命を全うし以て奉公の誠を竭されむことを切望して止まざるなり

英國を一巡して（三）

倫敦にて 本村雄次

之れより先きノースクリック系の新聞は甚だしくロイド、ヂョーヂに反對して、政府の財政上の浪費を攻撃し甚だしきに至つては未だ發表せられざる演說を臆測して最早國民は首相が如何なる雄辯を揮ふも街頭の小兒がブリキ鑵をたゝく程にも思はざるべく首相の十八番たるウエールスの山の物語も國民を感むるには足らざるべしなど、それは隨分非紳士的の攻撃を敢てし居候如何なる場合にも當局者を攻撃するは犬を打つ棒切れに不自由せざる如く其の材料は何處にも發見するを得べく候得共扨て局に當たれば左樣には手易く參り申さざるは何處も同じ事に候へば新聞の申分を聞きて非は凡て現內閣にありと爲すが如きは聊か早計たるを免れざるべく候

首相は劈頭先づ或新聞紙が未だ其の所說を發表せざる以前に徒らに根據なき誹謗を敢てするの不眞面目を詰り、苟くも國政を議するに個人的惡感を其間に挾みて云々するは最も惡むべきものなりと一矢を酬ひ次いで今次大戰の直接戰費總額は四百億磅にして此の費用は即ち四十萬人の壯丁が四年間生產に從事せずして而も各々一千磅づゝを消費したると同樣にして此の如き大浪費は社會の各方面に影響を及ぼし一として戰前の如くなるを得ず然るに假令平和條約は調印せられたりとて直樣何事も戰前の如くならんことを望むの無理の註文たるを述べ英國の外國貿易は戰前輸入超過一億五千萬磅に過ぎざりしもの、今年にして依然として勢を改めざれば入超年額八億磅に達すべく、國債總額は戰前六億四千五百萬磅なりしもの今や七十八億磅の巨額に達したり、然るに拘らず農業を除きては何れの產業も生產額の減少を來しつゝあり英國民にして爭つて消費を節約し生產を增加せざれば所詮は破產の外なかるべしと警告し說き去り說き來つて徐に政策に及び候が英米爲替の下落に就ては寧ろ人爲的調節策の到底維持し難きを說き寧ろ自然の儘に放任せば恰も輸入稅を課するが如く自然に輸入額は減少して爲替は結局平衡に歸すべしと宣明致し候此の所說は爲替市場に頗る影響を及ぼし他の經濟事情と相俟ちて八月廿一日に於ては四弗十一仙に下落し爾後多少恢復の兆を示したるも目今猶は四弗十五六仙の間を往來致し居候然れども歐洲大陸との貿易助長の爲めには二千三百萬磅のクレヂットを設くる旨言明致居候へば要するに對米爲替は自然に放任し對歐爲替は干涉政策を採らんとするものらしく何事に就ても英國は先づ歐洲の覇たる地位を維持せんとするものらしく候此際一言附加すべきは銀價騰貴の一事に候が小生がモンターグ氏の銀商を訪問して意見を求めし時は五十一片の頃にて支那の需要あり印度の需要あり、旁米國の銀產は減少の傾向にあれど、依然として最高昂越なりと申居候ひしが果然六十一片の高値を見るに至り早く既に補助貨改鑄の議さへ之れ有り候

序ながら英國の北露西亞に對する方策として磅を承聞銀行に預託せばアーカーゲルにてルーブルを受け得たる制度は九月一日より廢止と相成申候

正誤 前號の「英國を一巡して」の（一）とありしは（二）又冒頭發行會同役とありしは銀行合同後文中會同とあるは合同、二段目英五國とありしは王の誤り

滿鐵增給率と在勤地帶

滿鐵の增給率は大戰に於て二日朝刊既報の通りなるが其の在勤手當率は地帶主義に依り區分されたる結果京城管理局にても在勤地帶を左の順序に依り七區に區分したり

▲清津▲城津▲新義州▲元山▲平壤▲京城▲釜山

右の內元山平壤は同率にして清津は最北邊地として手當率多く釜山を最好適地として手當率少く多きは本俸の七割少きは本俸の三割と見れば大差なかるべく又家族手當は職員雇員傭員の三級に分かち朝鮮人支那人にも內地人同樣家族手當は支給さるゝ事となれり

衛生依託生（採用）

從來內地師團にては衛生部依託生志願者を採用し居れるも朝鮮にては未だ其の實行を見ず志願者の不便鮮からざりしが愈々第二十師團にても本年度より採用する事となり四日午前九時半より步兵第七十八聯隊に於て京城醫學專門學校生徒團本庄藏以下十一名の身體檢査を行ひ終つて午後一時より師團司令部にて早川軍醫部長の志操檢査を行ふ由

辭令（十一月一日附）

通信副事務官 天津郵便局長 鶴島潤太郎
任朝鮮總督府遞信副事務官 六等

財界閑話

◇最近大連を主として公募した滿洲銀行新株一萬五千株の申込みは內鮮滿を通じ超過のレコードを作つたらしい▲その應募總數六千八百十七萬と云ふから正に四千五百四十倍に達してゐる▲應募總額三千七百倍に達した大阪日本水力電氣會社の新株公募は現物團で振替申込みを極端に奨勵勸誘した爲だと同地財界に於て問題になつてゐるが大連で滿銀が四千五百倍に達したのはどうしたものだ▲六千八百萬株と云へば一億七千萬圓と云ふ莫大な證據金を要する無論そんな大きい金が大連で滿銀株のために動かう筈はない結局振替許可公募等の早い事に於てレコードを作つた事は既に書いたが今一つ從來に見ない例は新聞通信の代表者が贊成人として堂々名前を連ねてゐる事であらう▲此の會社は人氣を博するであらうと思はれる▲株式公募と云へば興業鐵道は七日から十一日まで一萬株を公募する事となつた、何分相手は堅實な會社で一株に第一回拂込金が五圓と來てゐるので相當人氣がある▲此の會社は株式公募が大連の如く形態は一萬株許りの申込みが殺到すれば申込は大分多からう殊に大連の株熱は此の一事よりして見るもいかに熾烈であるかを知るに足るそこに行くと京城——朝鮮の株式熱なども倚程堅實な點がある

分掌局長會議

遞信局にては京城釜山平壤元山四管掌郵便局長を本局に召集し四日より六日まで三日間分掌局長會議を開會する事となりしが第一日は持地局長の訓示あり尙ほ本局の出席者は持地局長岡本矢野佐々木野手各課長等出席せり

農業技術官打合

三日午前十時より總督府第二會議室に於て道農業技術官打合會開催西村殖產局長の訓演其の他種々打合せ事項あり午後四時閉會せり

府尹郡守會議

京畿道管內府尹郡守會議は來る十七日頃より三日間開會の豫定なり（京畿）

殖銀貯蓄成績

殖產銀行の最近貯蓄成績を聽くに九月一日開始以來益々好況を呈し十月末迄に本店に到著せる報告書に依り調査するも現在預金人員一萬五千餘件預金額二十五萬二千餘圓に達せり就中近來官公署會社工場學校等より團體貯金の申込を爲すもの漸く多きを加へ既に契約濟に係る團體は約六十口其の預金者六千七百人を算し尚續々申し込みの模樣あり殊に又喜ぶべき現象は鮮人側加入者增加の傾向ある點にして前記現在預金者中六割三分を占め其の一人當り預金額も零細の貯金としては相當巨額に達し居れりと云ふ

京畿驛屯賭（收入）

大正七年度に於ける京畿道驛屯賭收納の狀況を聞くに總計十八萬五千百五十四圓中收納濟十八萬四千七百十三圓收入未濟四百三十九圓にして收納濟額の內譯を示せば左の如し

貸付料	一八二、四〇五圓
使用料	一、七二五
生產品賣拂代	五八二
合計	一八四、七一四

鷄林土地認可（忠南燕岐）

忠南燕岐郡鳥致院面柴田又三郎氏外九名より申請中の土地建物の經營、未墾地開拓及び植林事業土地建物の委託管理其他右に附帶する附帶事業を目的とする鷄林土地株式會社（資本金十萬圓）を本店を燕岐郡に設立の件は十月三十日附を以て許可せられたり

有蓋貨車竣成（京管）

京管局龍山工場に於て製作中の有蓋貨車五十輛の內去る卅日五輛竣成し之にて累計十五輛となれり

滿鐵勤務時間

滿鐵の執務時間を改正實施したるが京管局にても同日より勤務時間を左の通り實施する事となれり

九月一日より五月三十一日迄（午前九時より午後五時）六月一日より八月三十一日迄（午前八時より午後四時）

軍司令官檢閲終了後東上

宇都宮軍司令官は大田大邱部隊檢閲の爲め三日朝七時四十分發列車にて山本、後藤兩副官を隨へて出張したるが鎭海灣重砲兵大隊を觀察後大演習に陪觀の爲め東上すべしと

衛戍司令官署理

宇都宮軍司令官出張不在中は淨法寺師團長衛戍司令官を代理すと

奥田少將出張

奥田龍山旅團長は宇都宮軍司令官の隨時檢閲に立會の爲め三日朝同行大田大邱地方に出張したり又師團よりは坂井副官同行せり

林長官通過期

東上中の關東廳長官林權助男は四日午前七時東京發途中京都大阪に一泊し八日頃朝鮮經由歸任の由其筋に通報ありたり

興鐵の張宴

朝鮮興業鐵道會社創立事務所にては四日午後六時より京城新聞通信記者を千代本に招待張宴する由

◎鮮銀券 日報 十月三十日現在左の如し

發行高	一二七、〇六四、六五九
正貨準備	五七、二六六、七九六
保證準備	六九、七九七、八六三

◎覆審法院給仕募集 覆審法院にては今回給仕若干名を採用する由希望者は履歴書携帶同院庶務課へ申出らる可しと

人事消息

▲荒井泰治氏（南滿窯業社長） 三日朝退城北行
▲高橋章之助氏（辯護士） 訴訟用にて大邱出張中の處一日歸城
▲平壤高等普通學校職員生徒廿六名 四日午後平壤發約十日間の豫定を以て內地へ修學旅行を試むべしと
▲河合治三郎氏（京管局經理課倉庫主任） 三日朝京義線より歸任
▲村田鉉磨氏（滿鐵營業課長） 三日朝京元線各驛視察
▲坂井師團副官 三日朝大田へ通過東上
▲釘本藤次郎氏（商議副會頭） 朝鮮釀造會社々長として同社機械購入のため二日夜大阪に向へり十日前後歸城の豫定
▲京城醫學專門學校特別醫學科本科第四學年生廿二名上田教授工藤囑託引率の下に三日夜七時五十分出發大阪名古屋東京日光京都岡山の各地を見學すべし

その日

◇米國上院にては、遂に修正案の全部を葬り去れり。民主黨の政權を奪ひ、國內民心をして對外的に轉化せんとし、米國の帝國主義的世界政策を遮二無二完成せしめんとせし、共和黨の策謀も、哀れ一敗地に塗れたり、彼等は更に如何なる背水の布陣を以て捲土重來せんとするか。今や共和黨敗戰の跡を顧みれば、其計畫に於て、規模に於て、將又目的に於ては、流石に雄大也。黨略の爲めには國政をも犧牲となさんとするが如き政黨とは、日を同じうして論ずべきに非ざる也。

◇米國の產業戰は、將に火蓋を切らんとす。大統領の協調周旋も何等の功を奏せず、勞働側は所謂三角同盟の陣容を整へて示威運動に著手せんとし、之に對して資本家中の穩健分子は、新に產業會議を開きて結束せんとす。資本の讓步か、勞働の敗北か。米國の產業界は、愈々狂瀾怒濤の渦起せんとするの形勢にあり。夫れ危い哉。

◇資本家相謀りて開墾會社を創設し、政府之が後援を快諾すと云ふ。現代の成金や富豪が、一開墾社の設立を以て、時勢に順應したるものと云ふを得ざるも、其目的が食糧問題の解決に在りと云ふに於ては、國民の歡迎を博すべきは勿論也。吾人は同會社が中途的に內地のみに止らず主力の一部を以てしても、朝鮮開墾の爲め、百尺竿頭一步を進めん事を切望して止まざる也。

◇少林院柏陰自得大居士とは、歐仙禪師の故明石將軍に對する授戒名也。今三日柏陰將軍の哀悼式を執行す、參ずる者何れも感慨無量、吾人をして追懷措く能はず襟を正さしめしもの多し。思ひ出づれば大正元年、明治天皇の崩御、今上御卽位の勅出づるや時の憲兵司令官兼警務總長たりし將軍は、自ら廳舍に部下一同を集め、恭しく進んで勅語を捧讀せんとするや、歔欷流涕聲を發するを得ず、漸くにして淚共に奉讀し終る、部下亦一人として泣かざる者なし、將軍平生忠君の赤誠實に金鐵の如く、死して尙皇土を護らんとし、遺骸北の地下に永眠す、英靈又恨む處なかるべし。今日此處に有志參集して將軍の哀悼式を執行す、秋風蕭々、落葉風に舞ふ。追憶に深きもの多々。嗚呼

◎朝鮮興業鐵道株式會社株式募集

目的及事業

本會社ハ朝鮮ニ於ケル鑛物ノ大寶庫ト稱セラル大同江岸ノ价川、德山、殷山、順川地方ヲ主要企業地域トシ平壤トノ間ニ輕便鐵道ヲ敷設シ左記ノ業務ヲ營ムモノトス
一、運輸業竝其ノ附帶事業
二、倉庫業竝物資ノ委託賣買
三、生產物ノ加工竝賣買
四、興業上必要ナル物資及建物ノ貸借賣買
五、土地ノ經營
六、礦業

本會社ノ特色

本會社設立後ハ營業前ト雖モ鐵道資金ニ對シテ前記地方ニ於テ既ニ許可ヲ受ケタル鑛區ハ鐵、金、銀、銅、鉛、黑鉛、亞鉛、砂金ノ各種四十餘ノ鑛區ニシテ現ニ出願中ノモノ數十礦區ニ及ヘリ殊ニ同地方ハ無煙石炭ノ保留區域ニ屬シ其包藏量ノ多大ナル平壤炭田ニ比シ優レルモノアルハ夙ニ專門家ノ唱道スル所タリ、由來大同江ノ航運ハ其ノ下流ヲ除クノ外水量ノ少キト冬期結氷トノ爲ニ運輸能力微弱ニシテ此等礦業ノ開發ヲ促進スルニ至ラザリシモ本鐵道敷設ノ曉ニ於テハ其鑛區ハ勿論保留炭田ノ解放亦決シテ遠キニ非ザルヘク本鐵道ノ將來ハ右炭田ノ解放ト相俟ツテ其使命ヲ新ニスベク本計畫ノ前途大ニ矚目ニ値スルモノアルハ架說ヲ要セザルヘシ

公募ノ理由

本會社ノ株式ハ東拓、古河、大倉ヲ中心トスル發起人及贊成人ノ引受株ノミヲ以テ滿ニ發行數ヲ超過スルノ好況ヲ呈セルモ發起人ハ元來本事業ガ營利一面ノ計畫ニ非スシテ運輸ノ圓滑、產業ノ振興竝燃料問題ノ緩和ニ資益スヘキ國家的社會的使命ヲ帶フル點ニ鑑ミ特ニ壹萬株ヲ割キ一般公募ニ附スル所以ナリ

本會社設立後ハ…朝鮮總督府ヨリ補給金アリ企業地ハ線路平田ニシテ工事ノ極メテ容易ナルハ他ニ比類ナキ有利ノ特點ニシテ殊ニ沿線到ル處鑛農產物豐富ニシテ各種企業ニ好望ナルハ自然ノ基準ニシテ加フルニ東洋拓殖株式會社ヲ始メ數多大會社ノ後援アリ以テ本鐵道ノ將來ヲトスルニ足ルヘシ

◀募集要項▶

一、資本ノ總額 金五百萬圓（株式總數拾萬株）
一、壹株ノ金額 金五拾圓
一、募集株數 壹萬株
一、申込株數最少限 拾株
一、申込期間 大正八年十一月七日ヨリ同十一日マテ
一、申込證據金 壹株ニ付 金貳圓五拾錢
一、募入決定ノ方法 應募株數超過ノ場合ハ發起人ニ於テ適宜決定ス
一、第一回拂込金 一株ニ付金五圓（但證據金併算）
一、第一回拂込期間 大正八年十一月二十八日ヨリ十二月一日マテ

大正八年十一月
創立委員長 子爵 松平直平

◎發起人

京城府 子爵 松平直平
平安北道 武井宗十郎
京城府 牧山耕藏
同 津田銀雄
忠淸南道 神田仲造
同 金甲淳
京城府 白完爀
東京市 川上常郎
京城府 吉田英三郎
東京市 [illegible]
同 脇田道三郎
全羅北道 大平惣三郎
平安南道 宮川五郎三郎

◎贊成人（イロハ順）

[illegible]

◎株式申込竝拂込取扱銀行

[illegible]

定款目論見書株式申込書印鑑票等ハ前記申込取扱銀行又ハ左記ヘ御申越次第送呈ス

京城東洋拓殖株式會社支店內（電話番號七九壹ヨリ七九四）
朝鮮興業鐵道株式會社創立事務所

商業登記公告

一、商號 株式會社朝鮮殖產銀行（變更）
大正八年拾月貳拾五日左ノ處ニ支店ヲ設置シタリ
平安北道江界郡江界面東部洞千貳拾五番地
一、株式會社朝鮮殖產銀行（變更）
總株ノ內朝鮮總督府持株六千五百九拾八株ヲ除キタル殘株九萬參千四百貳株ニ對シ大正八年拾月貳拾四日株金拂込ヲ結了シ其拂込金額總株ニ付金參拾圓ト變更シタリ
[illegible]
右大正八年拾月貳拾九日登記
京城地方法院仁川支廳

軍馬拂下

第二十師團司令部
野砲兵、騎兵隊除役馬約十九頭
大正八年十一月七日午前九時ヨリ龍山新練兵場北端入口ニ於テ賣拂ス

日本勸業銀行構內 債券相場 勸業債券月報社

十一月四日 ▲印二十一月一日くじ引

十二月一日くじ引（一千圓くじ多數）（六、七、七回）「一通九圓九十錢 送料一口十二錢」
▲家庭的御樂しみ!! 一組あれば毎月くじが樂しめる（送料當社持）
天（六八、六七 七一、七〇 七七） 三九・一〇
地（六九、六七 七二、七二） 三八・九五
人（ミ、三〇、を ち、る、り） 三八・六〇
大券社債相場表御申越次第進呈
擔保貸付 一枚でも取扱ます

種類	賣値	買値
[illegible]	[illegible]	[illegible]

御申込 送料一口 金十二錢
債券時報號外二錢五厘一年二十八錢 月報十四錢一年（號外共）一圓六十錢
振替口座東京一八番 本店
福岡市博多下奥服町 振替福岡九五五〇 福岡支店

國境横斷旅行(三)

鍾城から穩城鎮へ

豆滿江流筏不振の爲 寂く成つた延岩の街 雜貨屋も引揚準備中

鮮人夫は收入増加で奢侈となり 内地人筏夫は物價騰貴で大凹み

延岩にて 特派員 伊藤韓堂

延岩に著いた翌朝、ブラリと外に出ると野も山も霜は雪のやうに白く降つて、小溝はカチ〳〵に凍つて居る。西頭水の巖頭に祀つた **延岩神社に詣** でて社頭から所謂延岩なる街?を下瞰すると、たゞ嶮しい山中の一部落と云ふ感が起るだけで、營林廠が此の地を主腦地として豆滿江の流筏を爲しつゝある處とはどうしても受け取れぬ。近年人爲か天候の加減かで豆滿江の流筏は至つて振はず、二萬尺締か三萬尺締しか流下しないので、第一には營林廠出張所の事業振はず第二には筏夫の收入が少いので隨つて延岩より下流の **各部落を衰微** せしめつゝあるのである。打見た處人家は百二三十もあるらしいが、一度足を街に踏み入ると其處此處に立ち朽れつゝある空家がある、此の家は旅館の跡、此處は料理屋があつた町だなどと云はるゝ所は何れも閉鎖されて、今延岩に内地人の宿屋は一軒も無く雜貨屋もタッタ一軒あることはあるが其れも次を借はず **目下引揚準備** 中である。然れば店には特別商品も無く、僅許り殘つた商品は損を爲ない範圍で放賣中である。島本と云ふ此の店屋の主人は歎じて 四十里近い淸津から商品を引くには馱馬一頭に三十圓の運賃を要し月三十頭分の荷物を引くとすれば馱馬賃だけに現金一千圓の準備が必要である、淸津の卸問屋で延取引をして呉れないから、毎月少くも五六千圓の現金を廻さねば商賣が出來なくなつて來た、月に六千圓の資金を動かす位ならコンナ不便な山奥に這入つて營業しないでも今少し賑かな便利な所で商賣することが出來ると思ひますと語つて居つた。要するに此の延岩は夏季流筏期に於ける筏夫等相手でなければ商賣の出來ない所であるから、半年の間は徒に本を遊ばせねばならないのみならず近來の物價騰貴と勞銀高騰の爲め **大に資金膨大** したるも其の割合に利益多からざるを以て他に移轉すると云ふのであるらしい。タッタ一軒しか無い内地人の雜貨店が引揚げたならば、營林廠や驛遞の駐在所の人達はヨリ以上の不便を感ずることであらう、何しろ米は一升九十錢、酒は一升三圓に近い此の山奥では買ふ方の生活四隣服は云はずもがな、雜貨屋の方でも甚り難いさうである。此の二三年來流筏不振の爲内地人筏夫の收入減少と **物價騰貴に惱** まされ朝鮮に行つて流筏に從事するなら鴨綠江に行く〳〵豆滿江には行かないと苦情を云ふ位ださうで、酒を飲むにしても朝鮮酒幕に行つて朝鮮燒酎で我慢してるが鮮人側は之に反し勞銀俄に高騰したので奢侈となり贅澤と成つて高價い罐詰に日本酒で酒宴を開くやうな狀態である。

寺伯病勢盛返す

苦悶甚だし

寺内伯二日の容態は咳嗽甚だしくカンフル注射其他の手當を施したるも苦悶甚だしく心臟の機能殆ど不能午後に至り平井院長診せしに脈搏不整にして百二十以上に上り意識不明瞭一大佐も午後九時四十分來磯し看護し居れるが病勢險惡一同心痛しつゝあり(大磯電報)

偉大なる凡人

遷化せる釋宗演老師 後任管長は宮路師か

得庵將軍の頭を敲つて慶應義塾へ

遷化した釋宗演老師は豪傑肌の仏僧であつたがよく〳〵玩味すれば偉大なる平凡人であつた。先師洪川和尚は修業の上では非常な苦心をされた方であつたが宗演老師は之に反して恰も **抽斗から** 物を取出す如く極めて容易に總てを解釋した人で聰明に加ふるに充分の修行を以てしたので彼の偉大なる宗學の性格が形成された譯である老師は禪道に學んだ許りでなく正則の社會の學問も修めた、夫に就て面白い逸話がある、老師が未だ **若少の頃** 先師洪川和尚が專門道場の改築を思ひ立たれて各所の寄捨を需めた時、鳥尾得庵將軍宛に寄捨を乞ふ書面を持たして老師を使者に立てた處將軍が今は都合が惡い返事は後にする書面は慥に見たと傳へて呉れと言ふのを聞くや、老師は何と思つたか突然 **將軍の頭** をポカリと殴つた、イヤと云ふ程殴り附けてサッサと歸らうとするので鳥尾將軍はスッカリ感じ入り此兒後ち見る可しと洪川和尚に勸めて福澤翁の主宰する慶應義塾に學ばせたのである。老師の法を嗣いだ人々は峰尾大休、兩忘庵宗活、圓山太樹、古川堯道、棲梧寶嶽、太田晦巖、間宮英宗の各師であるが其他に教を受けた人で所謂 **居士號を** 有つてる人々は故明石總督を初め早川千吉郎、北條時敬、野田大塊、岡本桂次郎、小原新三諸氏で婦人では三島殖銀頭取母堂等がある。葬儀は取敢ず密葬に附せられる事であらうが何れ一ケ月位の後には管長を喪主とした圓覺寺の津葬に行はれる事であらう。

後任管長 には前管長の宮路宗海師が近頃健康に復して居るから呼聲が高い事と思ふ第二候補者は專門道場師家古川堯道、美濃野火止平林寺住職峰尾大休兩師の中であらう。(某師近者談)

菊作品評會 賞品授與式

受賞者は何れも大ニコ〳〵

本社主催菊花品評會の第三日目は折柄の日曜日と云ひ朝來麗かな小春日和の事とて引續いての賑ひであつた。殊に此日限りと云ふので見 **愈々最終** と云ふので見

宗演老師の筆蹟 曾て朝鮮關係の名士が鎌倉に集まりし際故明石大將揮毫の途次に宗演師が畫したるもの(後藤瑞巖師所藏)

故明石總督 葬儀

愈本日臺北新公園にて

故明石總督の靈柩は一日午前五時基隆著同十時二十分臺北なる總督官邸に著し靈前祭を行ひ三日新公園にて神葬執行の筈(臺北電報)

谷村宮司辭職

後任者協議會

京城神社主任神職として久しく在職中なりし谷村頼尚氏は今回宗家相續の爲め郷里へ歸還することゝなり辭職を申出でたれば大總代幹事長は相談役及び大總代一同を三日午後七時神社々務所に召集し後任者に關する協議を開くべしと

特等から 始めて以下順次各等に至る迄一々藤井支配人の手から各入選者に厳かに授與された。特等賞は銀側懷中時計、一等賞には大島銘仙一反宛、二等賞には新式置時計、三等賞には蝙蝠傘以下夫れ〳〵に副賞品を添へたので中には各等に入選して持切れぬ程の賞品を交附され笑くづれて居る人もある、七十歳の老齢者が只

老後の樂 にと栽培したのを勸めらるゝ儘に出品して思ひがけなく受賞し來秋は一層趣しい婦人の我兒のやうに育て上げたのが入賞したので涙を零して喜んで居た人もあつた、何れも喜色を滿面に湛ねて和氣靄々裡に式を終つたのは午後三時であつた。本社は今回の品評會成績に鑑み

又來秋も 同一の催しを爲す筈であるから滿都愛菊家諸子は奮つて本年以上に出品あらむ事を今から希望して置く

菊花品評會の入選者及賞狀は既記の如くであるが午後からは一入多く押寄せて階上階下立錐の餘地もなき盛況、午後二時には入選者の賞狀賞品授與式が擧げられた、此日の式場には紅白の幔幕を以て區劃した本社編輯局の半分を充當し審査員並に本社幹部一同列席、藤村本社支配人の式辭、江口審査員の挨拶あり賞品及賞狀は

巡査殺し豫審終結

水原に於ける騷擾事件 暴狀言語に絶す

本年三月中水原に於て野口巡査部長を慘殺したる洪冕堰外三十四名に對する保安法違反騷擾殺人事件は豫て京城地方法院に於て豫審中の處去月廿七日終結決定したり要左の如し

京畿道水原郡松山面沙江里
農洪冕玉事 洪 堰(三五)
外三十四名

主文

被告洪堰外卅一名は京城地方法院の公判に付す(以下略)

理由

被告洪堰は彼の孫秉熙一派が朝鮮獨立の宣言書を發表し其實現を開始するや之に贊同し多數 **村民を煽動** して朝鮮獨立萬歲を高唱せしめ國權恢復の示威運動を試み以て其目的を達成せんと圖り大正八年三月二十六日(舊二月二十五日)午後五時頃京畿道水原郡松山面沙江里松山面々事務所附近に於て舊韓國旗を掲揚し朝鮮獨立萬歲を高唱し以て群衆を煽動したる處被告王光演外十八名は **目的に贊同** し同所に於て外數十名の群衆と共に朝鮮獨立萬歲を高唱して之に唱和し當時前記被告中洪堰外十名は犯行を繼續し翌々二十八日午後二時頃より前記松山面々事務所裏山及び其附近に於て千餘名の群衆と國權恢復の目的の下に **舊韓國旗を** 推樹して治安を妨害したるにより同處に出張り居りたる巡査部長野口廣三は此場に於て被告洪堰外二名を逮捕したる處被告洪堰は同巡査部長に對し突然暴行を加へんとしたるを以て野口部長は之を制止する爲め拳銃を發射したるに銃丸偶々被告洪堰の **背部に命中** したり茲に於て同被告は激怒し同部長を殺害し以て報復せんと決意し群衆に對し自己の擊ちたる巡査を **打ち殺せと** 絶叫し共に群衆を煽動指揮したる處群衆は殺氣立ち形勢頗る不穩となりしを以て野口部長は同日午後三時半頃自轉車に打乘り水原郡陰德面南陽方面に避難せんとし松山面沙江里警察官駐在所を距る東方約六十間の地點迄至りし處群衆は同部長を協力殺害せんとして其 **背後に殺到** し其際群衆中被告王光演外數十名は野口部長に投石し尚ほ石若くは棍棒にて亂打し因つて腦震盪を惹起せしめ同時に骨折出血腦質挫滅を招くに至らしめ終に其の場に於て同人を撲殺したるものなり(中略)以上孰れも其證憑十分なるものと認むるに依り刑事訴訟法第百六十五條第一號に則り公判に付すべきものとす仍て主文の如く決定したり

中島丹氏逝く

寺内伯令弟

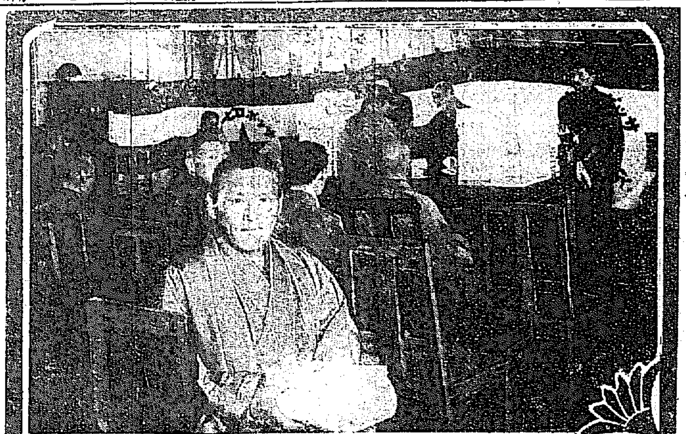
寺内伯舍弟中島丹(五九)氏は一日郷里山口縣吉敷郡宮ノ村の自邸にて宿痾の爲逝去せり(東京特電)

刑事に化けて

去月二十日午後八時三十分頃本町支那料理店に入り其店員山口縣生れ川添希賢(二五)が本町某雜貨店にて二圓餘の帽子を買求め居る所に四十歲位の詰襟洋服の男が現れ〳〵し川添の肩に手を乘り『僕は大阪の者にて現に本町警察署の刑事なるが過日光州に殺人事件あり犯人は當地に入込める形跡あるより各料理店飲食店出入者に就き取調べ中なり』とて川添の住所氏名を尋ね所持金を取調べ自分の申出金と相違ありと一寸口實に川添を外出させ同行す可く稱し所持金を雜貨店に返さしめ現金を取上げ逃走せり[illegible]

前科者の惡事

東京府荏原郡大森町百七十一番地生れ當時住所不定山中常松(三七)は前科三犯を有する者なるが本年三月三日入城當時の友人片岡平八と共謀して西四軒町百九十七番地奧田秀雄方を襲ひ常松は見張をなし平八のみ忍び込み衣類數點を窃取したるを始めとして本月九日迄六回に渉り窃盜を働き又は飲食店に於て無錢飲食をなし居たりしが本月九日午後十一時頃吉野町三丁目飲食店三福事中島みね方にて八圓餘の飲食をなしたる揚句代金は吉野町二丁目の自宅にて支拂ふ故同道し呉れよと附馬を引つ張り同道する途中南大門停車場附近にて附馬の隙を窺ひ逃走したるが十三日本町署の手に逮捕され取調の末三十日檢事局に送らる



菊花品評會賞品授與式

野に出て體を錬へよ

殊に朝鮮青年に望む

柴田學務局長談

青年の横溢した元氣は其指導宜しきを得ないと飛んでもない方向に逸し易い昔難行苦鍊を積む沙門の徒は修養の方法として有らゆる過激な勞働に煩惱の犬を避け **只管修養** したと云ふ話もある勿論之は消極的なものであるが青年の元氣を奔放に任せず運動を以て身心を鍛錬するのは一番よい方法だと思ふ現下の朝鮮青年の現狀を見ると生半可な憂國の志士を氣取つて勉學を疎にしてる者が多いが未だ **思想固まらない** 少青年が脅迫煽動に乘ぜられ徒らに埒外に走る事になる

朝鮮の運動界は近來大に **活氣を呈** しつゝあるが今後は一層内鮮人を問はず運動に身心を鍛錬する事が必要である從來は鮮人青年に對して別に體育を奬勵しなかつたらしい運動競技に鮮人學生などが出場するのを學務當局が喜ばなかつたらしいが自分は斯う云ふ考へは將來とも持たぬ野球であらうが競走であらうが競技であらうが **鮮人青年** の參加を喜ぶものである內鮮人の對抗競技なるものは或る場合幾分の考慮を要するが其他は内鮮人入り亂れて體育の振興に盡し運動競技に親しむ事には大賛成である、今や秋空清く將にスポートの好期であるから内鮮人青年は須らく運動場に出て身體を鍛へよ。

豫言者卒倒す

一千に餘る聽衆を前に 昨夜講演中の椿事

差したる怪我もなく間もなく元氣を回復す

柳川大會主催の豫言者講演會は三日午後六時より日の出小學校講堂に於て開催さる此夜定刻前既に數百の聽衆は會場に集まり六時となるや講堂は眞に立錐の餘地なく無慮一千人以上を以て埋められ

風邪氣味 なりし宮崎氏は定刻に遲れる事三十分にして幹事室に著し總ての打合せをなしたる上開演する事となり先づ柳川大會の代表者木下榮氏開會の辭を述べ次いで本社の佐田草人氏登壇報告にありし平岡喜知子女史の **缺席理由** 並に宮崎氏に對する總括的講演をなす後例の照子嬢(二)は『金剛山探勝偶感』に於て『森嚴なる山に登りては徒らに遊山氣分を懇むるばかりでなく大いに森嚴の氣を養へ』と説く次いで宮崎氏は滿場の喝采裡に姿を壇上に現し『新宗教を賓す』と題し『吾人は廿世紀以後の生活に於て **生き乍ら** 神たり佛たるの生活を開始せざる可からず』と滔々數千言を盡し卑近なる例を擧ぐる處、宛ら紫電の散るに髣髴たり聽衆は時々共鳴の拍手を投げて恍惚の境に在り斯る光は場内を壓す、後少憩演題を改めて **勞働問題** 及デモクラシーの批判を試る爲め再び登壇此時氏は風邪の爲め論理に完きを盡し難しと前提し先づ封建時代の士農工商より說き出さんとせしに測らざりき突如として無言の儘一瞬間佇立したかと見れば『どうも具合が惡い』とつぶやきつゝ其の儘高さ三尺に餘る壇上より **演臺諸共** 聽衆席に打倒れたれば直ちに幹事は介抱を旨し幹事室に氏を運びたり聽衆は此意外の椿事に驚きながらも誰一人として退場する者なきのみならず金井眼科醫の如き特に氏を見舞ひ應急手當をなしたり一方幹事側は直ちに多々良醫師などの來診を乞ひたるが輕微な **腦貧血の** 爲めさしたる傷所も生ぜず只無名指をコップの破片にて傷つけたるのみ間もなく元氣を回復したるは不幸中の幸と云ふ可く氏は直に宿所へ引揚げたり、朝に敵へを說き夕に倒る、兵家の戰場に於けると等しく眞に壯烈の極みならずや。

見舞金 講演中卒倒した宮崎氏に對し無名氏より見舞として金一封の傳達方本社へ申込みありたり

狂犬が多い

警戒して欲しい

本町署保安係は曰く近頃は又非常に狂犬が殖えた樣である今頃は恰度交尾期で犬の昂奮する時分であるから成るべく犬に接近しない方が安全である一方飼主も犬を繫留するか或は口輪を嵌めて置いて欲しい若し犬に咬傷を負はされたならば速かに豫防注射を受けると共に最寄の警察に屆出でねばならぬ

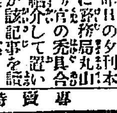
生觀書會

北村生觀畫伯の滯城を機とし京城官民名士百餘名賛助の下に生觀書會を組織せるが入會希望者は左記承知の上申込まれたし

▲畫題、山水花鳥▲潤筆料尺五絹本十五圓、同尺八絹本二十五圓▲申込所京城日報、京城新聞、朝越喜代三郎(旭町三の九、清雅堂)(本町二の五五)

追悼菊花會

朝鮮に於ける菊花栽培に功獻淺からざりし故大朝特派員橘香橘氏の逝去を悼み來る九日第二日曜日を期し京龍愛菊家有志相集まり同氏追悼菊花品評會を開催する由詳細は追つて發表の筈なり



灯頃

▲昨日の夕刊本欄に學務局丸山事務官の禿具合を紹介して置いたが該記事を讀んだ事務官の禿物語りに曰く▲先達ての平和克復祝賀日の日だつた、龍岡中學と僕等と野球の試合を行つてネ、僕も燕尾服を脱いでユニホームに着更へ三塁手として大いに奮闘したよ▲守備は鬼に角先攻戰に際し恰も滿塁の時僕に味方の攻撃の有機だつたが僕が責任バッターとして僕がボックスに立つたのさ▲ところが打ちも打つたりホームランヒットと來ただらう!一擧にして四點を奪ふと云ふ景氣、拍手喝采を浴びながら僕は夢中になつて突進中、どうした拙みか、帽子が飛んで禿がピカリ、▲之ですつかり若作りは剝げて了つたが見物の喜び一方ならず禿に對して大いに喝采を博したよ。

運動界

三越軍捷つ

三越呉服店對本社の野球戰は二日午前十時より龍山鐵道公園にて擧行試合に入れるが兩軍共審判にて本社先攻試合は鬼に角兩軍エラー續出し遂に十三對十四Aと云ふ大スコアにて三越軍の勝に歸したり兩軍の陣容は

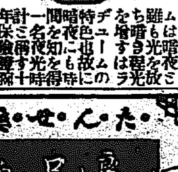
三越軍	
加納	4
貝塚	2
早川	9
鈴木	5
横瀬	8
笹島	1
中尾	3
今井	9
片桐	7

本社	
寺田	6
福原	7
野崎	2
高橋	3
木谷	8
松本	5
鈴木	4
世	9
田島	1

兩軍共同點

朝鮮商業銀行野球部は其發會式を兼ね二日正午より龍山鐵道公園にて本社と野球試合を擧行せり五回ゲームにて商銀力戰の結果七點の同點にて試合を終れり池田商銀營業課長の外高平は十五年振だと云ふもの守備も攻撃も立派なものなりき商銀軍の陣容は

商銀軍	
高平	2
池田	7
朴	9
松村	6
岡部	3
神崎	1
森	4
山本	8
永山	5



暗夜にも時間を知る夜光 腕巻時計

本品は世界第一の產地瑞西國の製品なる故正確品なりニッケル側大歡迎ラヂユム入12形腕巻時計 ラヂユームは暗夜にも光を放ち雖も増すはラヂユームの特色にて故に暗夜を知るの時間を得る一名夜光時計と稱し十年保險付 皮 七圓十九錢

同國製ニッケル側片硝子十五形最新輸入スカ腕巻用夜光ラヂユーム入器械本アンクル十ケ年保險付鎭磁石メタル包の四品 金側代用永久不變無双中蓋付二枚蓋機械堅牢二十ケ年保險附前記品付 九圓半 付 參圓

●前金の方は圓增し 御希望の方はハガキにて御申込代金引換にて送る(送料五十錢)御購求後不向の時は即時御返附あれ他品交換又は代金返戾す

大阪市東區上本町九丁目 みかど商會時計課 振替大阪九二一九番

商業登記公告

株式會社朝鮮商業銀行水原支店 登記事項中大正八年拾月貳拾日平安北道江界郡江界面東部洞貳拾五番地ニ支店ヲ設置ス 大正八年拾月貳拾四日株式ノ内朝鮮總督府ノ持株六千五百九拾八株ヲ除キタル殘株拾九萬參千四百貳株ニ對シ金拾圓宛拂込ミテ結了シ其各株ノ拂込金額ヲ金參拾圓ト變更シタリ

右大正八年拾月參拾日登記

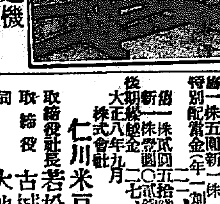
京城地方法院水原支廳

伊勢崎銘仙 絹布綿布種々珍柄 サンプル出來ス 羽尾商店へ 至急申込アレ 群馬縣伊勢崎本町二丁目

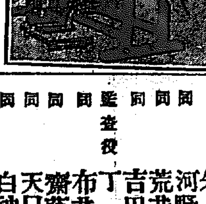
仁川本町 白神洋行

洋鐵鋼、諸機械 工具附屬品一切 金物商 月刊物價表 御申越次第進呈

京城南大門外 白神洋行支店 平壤本町



專賣特許 八谷式製繩機



勸業特許 眞崎式素麵機

朝鮮大田本町二丁目 特許諸機械製作 眞崎大出張所 振替京城六二六七番 ▲特約店募集▼

た・ん・せ・き・一切の[illegible]特效藥

口中にて甘くして 淺田飴

本舗 東京 大阪 堀内藥房

大正八年上半期決算報告

貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込株金	四七七、五〇〇、〇〇
定期預金	四七七、五〇〇、〇〇
別途預金	二一七、〇〇〇、〇〇
營業預金	二五二、三六七、五〇
買付金	九、五〇〇、〇〇
未收入金	四七六、八〇〇、〇〇
建物	二三、〇〇〇、〇〇
地所	二五、〇〇〇、〇〇
什器	八〇四、〇〇
現金在高	三八、一五
合計	一、九五八、五〇九、六五

負債之部

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇
法定積立金	二五〇、〇〇〇、〇〇
賣買證據金	三九一、六四七、〇〇
仲買人損失補償勘定	四七一、〇〇
仲買人身元保證金	一〇八、〇〇〇、〇〇
受渡未代金勘定	七七、七六〇、〇〇
當期利益金	一三〇、六三八、六五
合計	一、九五八、五〇九、六五

利益金處分

科目	金額
利益金	一三〇、六三八、六五
内 配當準備積立金	二〇、〇〇〇、〇〇
所有物償却積立金	五、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	一三、〇〇〇、〇〇
配當金(年一割) 當一株五圓新一株貳圓〇三錢	四三、二七三、〇〇
特別配當金(年一割) 當一株五圓新一株貳圓〇三錢	二一、七三二、〇〇
後期繰越金	二七、六三三、六五

大正八年九月

株式會社 仁川米豆取引所

取締役社長 若松兎三郎
取締役 古城菅堂
同 大池忠助
同 朱性根
同 河野竹之助
同 荒井初太郎
同 吉田秀次郎
監査役 丁致國
同 布井嘉藏
同 齋藤久太郎
同 天日常次郎
同 白神專一

前監査役任期滿了ニ付改選ノ結果丁致國、齋藤久太郎、天日常次郎、白神專一(以上重任)原勝一(新任)選任致候

當期配當金ハ十月三十日ヨリ當所ニ於テ支拂可致候

寺伯再び危篤

釜山正米市場 三日の當市場は内地明米の高報に[illegible] 一石二十三圓五十錢處を唱へ八百俵の取引ありたり

天氣 晴一時曇

…込みなきに至り三日夜危篤の橋本邸へ運ぶに決せり（大邱特電）

…中村吉三郎、外八九名…上保蔵、尹英子、吉田剛、米山要…

馬賊に捕はる迄

小說以上の奇話

人質から圓滿に（四）

酒井親補氏談

釋放された者は恰度馬賊から免疫性を受けたことになつて居る譯である、今度は彼等の身の上を尋ねて見ると其多くは山東省邊から來て居る農夫上りの者が大部分を占め巡警とか兵士から轉じたものは僅かである馬賊となる動機は百姓生活に飽き飽きした金を得たい爲と饑饉が主なる原因で中には馬賊の爲め金品全部を

掠奪された爲に 自分も馬賊の仲間入りをしたのもある、此等の中には賭博其他の爲め折角命懸けで得た金も何時も消費して何時も素寒貧のものも少くはないが然し大概のものは百や二百の金は懷に藏ひ込んで居る模樣で去年は俺は自分の家へ千元送つてやつたとかイヤ俺は二千元送つたとか話して居るのもあつた、そして相當に金が出來たら何時迄も此樣な危險な事をせず早く故鄕へ歸つて親や妻子にも安心をさせ何か眞面目な商賣をせねばならぬと

口癖の樣に云て 居るがイザ其れを實行したものが甚だ尠く亦一度國元へ歸つても永く眞面目な生活の續く者がなく不自由と危險とはありながらも割合に樂をして收入の宜い馬賊生活の味が忘れられず再び此の危險區域に身を投じるものが多いのである、其の勤務時間が線香一本を以て標準として居るのと共に或點に於て

馬賊と日本藝者 とが恰度好く似通うて居る樣に思はれるそれから馬賊は何れも部隊を組み官兵の服裝をして堂々と往來して居るから仲間同志でも一寸其の眞僞が判らない爲め時に依つては同志討ちを始める事もあるが大概不意に出會うても互に部隊を止め斥候を出して其の仲間か否かを見定めてからでないと無闇に發銃せない樣にして居る、亦眞の官兵の方でも討伐隊を馬賊と思うて

同志討をする事 もある然し馬賊の方からは成るべく之を避けて危險なき樣にと思へば先付かない事にして居るから森林中とか闇夜とか特別の場合の外は滅多に衝突する樣な事はないのである、そして此兵服は全部頭目の頭領となつて居るさうで頭目の頭領は兵服と金錢で部下に對する分配は平等に行ふとの話であるが其中頭目か歸つて來たから幸ひ股初返してくれた手

日誌を記したい 眼のある處より こ遊び無聊で仕方がないから何か文字を書いて遊びたいから鉛筆を返してくれないかと頼むと頭目はフム宜しく〳〵と云つた切り一向返してくれさうな樣子もないので色々考へた末硝子に溝を掘つた

萬年筆から思付 き細い枝を拾うて來て其れに溝を造り頭目がお前に預けて置くと返してくれた阿片煙膏を水に溶してインキとし書き始めた處が案外巧く行つたが只其の尖が直ぐ磨滅する處があるので今度は竹を削つて拵へて見た處之れは非常に便利よく尖が磨滅すれば木賊で磨いて爾來此の一本の竹の萬年筆で日誌を書き綴つて來たのであつた

時によると頭目 が書いて居る日誌を覗き込んで何が書いて居るかと問ふから此れは天氣の事であると誤魔化すと天氣の事だけで其樣に長く書かねばならぬのかと不審がる事もあつた、他の支那人は毎日水汲や薪拾ひをさせられて居たに反し自分は比較的優遇せられ別に何の勞役も命ぜられないので終日無聊に苦しんだ結果三四人である水草を刈つて繩を綯ひ又は附近にある黃楊の木を採つて來て箸を作つたり針金を貰うて

パイプ杯を拵へ 漸く鬱を慰めて居た併し此パイプは中々馬賊の仲間に評判よく俺にも一本作つて吳れ自分も一本欲しいと澤山注文されたが針金で穴を明ける事が中々

困難で一日一本 位よりは出來なかつたのであつたがゾレでも二十四五本は作つて皆彼等に分配してやつたのであつた、此外食物に付いても種々研究して二つ三つ考案して居たものもあつた（未完）

鮮人側設立の新銀行續出す

釜山東萊の河東統營固城金海等の地方鮮人三十餘名發起人となり資本金二百萬圓の大東銀行なるものを設立することとなり釜山府に設立認可の申請を提出したるが本店は釜山に設き統營に支店を置き一株五十圓の三萬八千株を發起人にて引受け二千株を公募すべしと云ふが第一回は四分の一なりと（釜山）

旱害と東拓

低利資金の貸出方針

東洋拓殖會社大和田金堤出張所長の談に依れば本年の旱害は大分影響があつたが當會社の小作區域は約七千町歩にして區域中良好な處もあるので例年に比し通じて約二割五分減にて會社としては大した損害もあるまいが會社の事業として一般に普及してゐるのは低利資金の貸出しである昨年頃までは僅々五十萬圓位に止まつて居たものが本年に至りては三百萬圓に達して居る最初は同資金の貸附に對し一般鮮民等は手續を知らず尙ほ遲延する處より餘り之れあるを認めざりしが最早今日にては其の利用法を知り會社の方にても迅速に貸出す方針に出で居れ一般の便宜を圖り極力簡易に努むるを以て人氣頗る好く其の目的を達するに至れり內鮮人を通じ拓殖資金に對し成るべく利便を圖る事に利息は定期一割年賦九分五厘の處にて貸出居れり（全州）

廻穀季と大連

堆貨も漸く片付く

一時大連埠頭の堆貨は四十七萬噸と云へる未曾有の記錄を示せしが其の後貨車制限その他の爲め漸減して現在は四十四萬餘噸なるが內約半數は大豆なり大豆は一時相場昂騰せし爲め北滿物は殆ど南下し盡せるが如きも新豆の出廻り未だ多量ならず加ふるに大連油房の消化能力は十月に入りてより著しく增進し日々豆粕の製出八九萬枚乃至十萬枚に及び大豆堆貨は漸減一方にて去月二十四日現在埠頭大豆は十三萬二千四百四十二噸なり而し彼岸新豆期に入りたる事なれば遠からずして多量の新豆系埠を見るべしと（大連）

移住漁民獎勵

香川縣にて機關新設

香川縣にては海外移住獎勵の爲め豫て獎勵機關設立計畫中の處今回愈々當局外縣下有力者を會員とせる拓殖協會を設立し一拓殖社とも連絡を取り朝鮮移住者を獎勵する筈にて來る十七日發會式を擧げ植民思想普及講演會を開催する由因に東拓會社より同出張所長村上秀一氏も出席するならんと尙又縣下に東拓第十回移住申込數は約百二十戶にして內地各縣中第五位にありと（釜山）

五鐵聯合大會

馬山に於て聯合大會

五州鐵道問題は久しく懸案の儘未だ解決を見るに至らざる爲め鐵道沿線民は聯合大會を近々開催すべく十一月八日馬山に於て開催することに決定し其旨各沿線地に通知したれば當日は咸安、晉州、河東、灃陽、光州、松汀里、潭陽、南原其他の關係地方より二百人乃至三四百人の來會あるべき見込にて發起人たる聯合會に到着したれば當日は定めて活氣ある會合なるべし（馬山）

出廻ざるべし

慶南の陸地棉

慶南地方の本年陸地棉作柄は天候順調なりし結果作柄は申し分無く既に收穫を終了し例年共販賣所の繁忙を極むる季節な

るに本年は農民一般の經濟狀態は近年見ざる良好なると木棉と棉との價格の相違著しき爲め販賣せずして自家用に供するの結果出棉皆無の狀態なり（晉州）

滿鐵と銀行團

社債と特殊銀行

滿鐵の社債は是迄多く日本興業銀行に據る處ありしが這回は興業の外に正金、鮮銀、臺銀等の特殊銀行を以て一つの銀行團を組織して滿鐵に對する資金の供給を爲すべき內議あるもの、如く傳へらる（大連）

鮮人私立中學

全羅南道の鮮人設立

全羅南道昌平の井邱圭氏を設立者とし光州に中學程度の私立光山學校を設立すべく今回郡廳に申請せるが科程を四ヶ年とし普通學校卒業生を入學せしむる筈之を以て全南に於る中學程度の私立學校申請の嚆矢とす（光州）

起業の手蔓

滿鐵勸業課にて應諾

滿鐵勸業課に屬する仕事は道開きは勗めて滿鐵に於て爲すも、諸種の試驗を了り相當採算上の見當立たば成る可く一般事業家の手に移して發展を期すべき方針なるが、從來同課窯業部に於いて試驗中にありし陶器工業等も大體試驗を了りしを以て近く一般事業家に讓渡して斯業の發達を期すと云ふ（大連）

○義州農產品評會　義州敎育會にては例年の如く十二月二日より三日間普通學校に於て農產品及び學藝品展覽會を開催す可く出品は當地小學校、農學校、普通學校の生徒の作品を主とし參考品として父兄の作品を蒐集する由にて多數の出品ある筈

白熱点に達せる株式熱

大連と支那人の投機

應募四千七百倍

當て一萬五千株に三株

近來大連市に於ける株式熱は頗る甚だしきものあり遂に此の風潮は支那人間に迄傳播したり元來支那人は投機心に富めるも株式に對しては

不案內なりし故 此の方面に熱中するもの比較的少かりしが近來漸く了解し來りたると共に彼等の株熱を助くべき機關の整備し來りたるより近來頗る旺盛となれり這回の

滿洲銀行株 なども支那人側よりの申込數實に一千三百六十萬株の多きに達し日本の分を合すれば實に七千六十二萬六千株の多きに達し公募數に對し四千七百倍となり

之が割當は僅か一 萬五千株に三株、一萬株申込に二株なるべしと尙同行は十一月十日迄に拂込完了の上十二月初旬開業すべしと（大連）

商況

株式

東京現株（正午急電報）

◇三日中値

銘柄	拂込	時價
鮮銀	一〇〇・〇〇	一四五、〇〇〇
同新	七五・〇〇	一二八、〇〇〇
東拓	五〇・〇〇	▲一二六、〇〇〇
一新	三七・五〇	▲八六、〇〇〇
二新	一二・五〇	……
殖銀	五〇・〇〇	▲九六、五〇〇
東亞	三・五〇	堀含み

東京株式（正午急電報）

◉三日第一立會		前場比較
東株	四二二、九〇〇	一、〇〇〇安
同新	四一三、〇〇〇	二、五〇〇高
滿鐵	一八〇、六〇〇	六〇〇高
一新	……	……
二新	一五〇、一〇	、八〇安

大阪株式（至急電報）

銘柄	三日前場寄付	一日後場比較
大株	三八四、九〇〇	……
同新	三七一、八〇〇	……
郵船	二四三、六〇〇	……
同新	一四四、六〇〇	……
商船	一三八、一〇〇	……
同新	一二八、六〇〇	……
紡績	三六〇、四〇〇	……
同新	三三一、九〇〇	……
東紡	二六三、〇〇〇	……
東棉	一五一、〇〇〇	……
東米	一七〇、〇〇〇	……
上取	八九、九〇〇	……

安信更に暴騰

數日前より熱狂相場を現出したる安東信託株は三日四十一圓に暴騰せり來る七日の創立總會迄には五十圓を突破すべき見込みなりこいふ（安東縣特電）

京城現株（標準値段）

▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	[illegible]	△一七六、〇〇〇
朝郵	[illegible]	四二、〇〇〇
電興	[illegible]	一八、五〇〇
皮革	[illegible]	二五、五〇〇
東畜	[illegible]	一五、〇〇〇
朝紡	[illegible]	二八、五〇〇
製紙	[illegible]	三七、〇〇〇
商銀	[illegible]	五六、五〇〇
同新	[illegible]	一八、〇〇〇
滿毛	[illegible]	▲五五、〇〇〇
同新	[illegible]	▲四二、〇〇〇
朝煙	[illegible]	三一、〇〇〇
鮮土	[illegible]	二一、五〇〇
東亞	[illegible]	四四、五〇〇
東畜	[illegible]	三三、五〇〇
仁倉	[illegible]	一五、五〇〇
殖鐵	權利	▲一五、五〇〇
京日	[illegible]	△二三、五〇〇
安信	[illegible]	▲二〇、五〇〇

出來高平均値

銘柄	出來高	平均値
鮮銀新	一二二、五〇〇	一、〇〇〇
滿蒙毛織	五二、〇〇〇	五〇〇
東亞新	四五、〇〇〇	四、五〇〇
安東信託	二三、〇〇〇	五〇〇
朝鮮皮革	二六、〇〇〇	八〇〇
朝日醸造	一三、五〇〇	一、〇〇〇
殖產銀行	九、〇〇〇	七〇〇
南滿製衛	九、五〇〇	五〇〇
商銀新	四三、五〇〇	一、〇〇〇
殖鐵權利	一九、〇〇〇	一、〇〇〇
	六、〇〇〇	一、六〇〇

殖銀上向步調

殖產銀行株は既に增資內定せるに拘はらず連日不勢を續け居たるが去一日來東京電報は漸次引締りを報じ本日は九十六圓五十錢と入れたり之れ既に底入れとし

安東信託奔騰

安東信託は去る三十日の出來値二十二圓五十錢を最高として一圓內外の手合せに過ぎざりしが安東、大連方面より締まりの口買進みあり氣配過かに硬化して今朝唱へは三十圓より三十二圓迄の買聲あり一擧十圓方の奔騰を來せるが安東縣にては既に四十二圓を唱へられゐる由にて目下四五十圓目標と稱せられ居れり

株式風聞錄

去る天長節の内水に於ける現物組合懇親會で先づ驚かされたのは株式賣買に從事する人員の多い事であつた▲多くて三四十人ならんと思つたのは獨り記者のみでなかつたやうだが會する者無慮一百餘人とは意外の盛會であつた▲席上田中組合長の挨拶は却々抱負に富んだ武士的の辯舌であつたが認められたか切々たる言葉足らざるモドかしさが其の表情に現はれて居たは遺憾であつた▲『吾々の一擧手一投足は直ちに大小資本家を通じて京城財界に好惡の影響を及ぼす事甚大であるだから吾々は益々眞面目に株式を攪研究して輕擧妄動を愼み利己を離れて客の利益を圖らねばならぬ』と▲然り株式賣買に從事する者が他の一般商人と選を異にする所以は利己心を離れて客の利益を擁護する點に在り客は自己の擴大であり延長であるとの信念の下に活動し其客の利益即自己の利益となるならば客の利益に從つて利益は增大する▲從つて注文は殺到し從つて賣出す株ならば大丈夫アノ男が勸める株なら安心だと云ふ迄に組合員各自が世間の信用を進めたならば天下の大記者が天下の大新聞に據つて天下の輿論を喚起するが如く組合の一擧一動は鮮界の消長浮沈を左右するに足る大勢力となる事は强ち至難ではあるまい

確實なる利殖法は確實なる株式に投資せらるゝに限る少額の資金にて御用命の節は低利信託の御相談に應す

京城南大門通一ノ三　浦長商會　電話長一七三七番　受信略號ウラナガ

仁川仲町二丁目　仁川支店　電話七六九

元山仲町　元山支店　電話三〇番

見たる向の買崩しに依るが如く常に內地とは三圓方の上鞘に居る當地は早くも百圓を唱へられ九十九圓の手合せを見たり

滿蒙再び好勢

滿蒙毛織は內地高を受けて今朝唱へ減切高となり前日五十一二圓の商內に對し五十五圓以下の賣物皆無となりたるが大阪三十圓の中値五十六圓よりすれば或は今一段の高値を唱へらるゝやも計り難し

仁取不氣乘

仁川取引所株は歷報の如く熱狂後の氣拔けに漸次反動安を續け昨今取引皆無となり昨今の唱へ値は百六十六七圓處なり

朝日醸造弱し

朝日醸造株は十四圓より五十錢處の手合せを續け居たるが昨今蝸株不勢の氣を受け十三圓より五十錢內外の安唱へとなりたり

殖鐵保合ふ

殖鐵權利は公募發表當時より人氣落らぎたる觀あるも買氣は尙ほ相應に潛み居れるもの、如く取引値段は高値六圓五十錢より安値五圓五十錢處に保合ひ居れり

東亞新稍回復

東亞煙草新株は休日前の手合せ四十四圓五十錢を出でざりしが今朝來四圓七十八錢より高値五圓の商內あり氣配稍持直したる觀あるも少しく高ければ直ちに賣拔けんとする振合あれば其伸力は比較的鈍かるべく觀測さる

調節觀動搖

紡績株の騰落は株界全般の氣配を左右すべき値打ちある折なれば此調節如何に就ては一般の注意を怠らざる處なるが如きは調節風に反抗の氣分を釀めて新値より又新値へ亡らる有樣なれども材料關係の一層複雜にして仕手關係の單純ならざる株式市場にあつては綿絲高を以て直ちに新續株の買材料となす程の決心高付かざるが故に商一調節が實際上行はるゝものとすれば標準物たる六百圓の値頃を保つ綿絲が百圓切や二百圓の反動安を惹起する事は易々たる所にして此商の反動懸念が新續株に對して又安心を與へざる場合あるに似たり從つて斯る懸念を抱持しつゝある折柄なれば十一月限の大取組の實情に對してもそれが市價に於て如何に作用すべきか否かの判斷よりも先づ警戒的手詰めの促かされ易きは避け難き所なるべし

北濱だより

新株はチッキリ高かるべしとの豫想は裏切られて案外の氣配を示し人氣も左程になかつた、宜い材料が好く響かなかつたと云ふ處に一般の空氣が伴ふ後とは免れ難い處であつて買方は手詰によつて意外の急落を招くに至つた▲新市發會劈頭の一下げは畢竟買方自身が作つた相場である所から見て他に特別の惡材料がない限り取組觀念は買方側に有利なる理由があつて若し之れが整理さるべき以前に於て早く大に反撥したのも知れない▲大電の不始末は益々甚しいやうだが其關株の相場は却々底堅い▲[illegible]

米況

東京期米特電

◉三日前場　當限寄付　四十三圓十五錢　中限寄付　四十三圓十錢

寄付　四六、六四　高値　……　安値　……　止め　……

大阪期米特電

◉三日前場　當限寄付　四十三圓六十錢　中限寄付　四十二圓七十錢　日後場

三日前場　寄付　四六、五〇　高値　……　安値　……　止め　……

神戸期米特電

日後場　◉三日前場　寄付　四六、五〇　高値　……　安値　……　止め　……

下關期米特電

三日前場外米七〇賣下げ氣構へ

	當限	中限	先限
寄付	……	[illegible]	[illegible]
高値	……	[illegible]	[illegible]
安値	……	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

仁川期米

三日前場（場面下落る）

今朝天候西の風に遊び前週土曜の止値前寄來等なるも前週來人氣軟弱に傾き居る丈け場面は存外シッカリに立會ひ當限買物に四十三圓七十五錢より始め中四十三圓二十錢と約上げし居る各店の買ひに三十錢と下ぐ各店の手詰め物に伸悩み二十五錢と下押せしが㋡店の熾烈賣りに下遊り上向きせんとせし折柄㋖より克く賣りて採合ひ先回… [illegible]

▲第二節 當出來中二十六錢… [illegible] ▲第三節 當限四十三圓八十錢… [illegible] ▲第四節 當出來中二十錢… [illegible] ▲第五節 當限七十錢中二十八錢… [illegible]

…こしてまだ〳〵相場の勝敗は何れとも決したと云ふ譯ではない正に米の賣勢に刺戟されて目先買方の勝こするも除日ある中最こして何時大勢の崩れを見るから計られねば寸時も油斷は出來難きのみならず軟派は弗々實彈の準備に活躍を始めたとの說もあれば或は意氣地でも一萬石位いの渡米は調達するであらうと云て居る向もある果して如何

軟派の乘替

[illegible]

買方傍觀す

軟派主力の乘替に對し買方は傍觀して買玉を堅質に擁し却つて軟派主力の乘替へを希望せる向多く正米の强硬に連れ現實戰を期待しつゝあり

三日　[illegible]

	寄付	高値	安値	止め
當限	四二、九九	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	四三、八〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇ 賣入 當限 廿六萬九千五百石 / 中限 四十三圓十七錢 / 先限 四十二圓二十八錢

仁川米豆取引所仲買人　內海仲買店　電話長六一五・六三貳

市場雜觀

米界は勿論金融界迄も注目を引きつゝある十二月限の如きは硬軟の勝入れ益々深甚を極め限月戰を濃厚に爲し軟派は飽迄硬勢の相場を軟勢に壓到せんとし中々强さず新米期を見掛けて相場を自然買方の鋒鋩に獨占されんとの傾向を示し來るが是れに付いて▲某氏は語りて曰く勿論季節や値頃としては軟派に提灯を附けたく思ふも正米事情や內地相場の採算より思考すれば買い提灯も未だ餘地が有るやに思はれるので吾々如き新規に乘出す者は一寸氣迷いする處なるも現代大取組となりて居る▲中限に依りて勝敗の曙光を認むる如何に付いて色々の風說を耳にせしも眞逆軟派側の策戰とも容易に窺知し難きが現在の買方主力中村一派の金融機關たる某銀行に向け嗎卦の注射を試み▲金融取引に防害を加へんとせし事が事實とすれば大便所の踏み板をベンキで塗りたも同然にて自己の苦しきを隱さんと一場手段に過ぎないので現今の相場上より觀測すれば眞逆賣方一派がヤケ酒のんで釜山に歸られんと云ふ事を無いとも分らんが併し賣方ありての買方なれば相場の勝敗は大勢の成行に委し▲互に他人の信用保…

綿布は躍進

當局の市場調査愈々終了を告げ主務省に於ては一戶書記官の報告を待つて夫々對策處分を爲さん意嚮なるが如く殊に調査の結果暴利の事實を握られし綿布界の如き近かく頭上に落下せられんこする大鐵槌を恐れ今日不安に襲はれつゝありしと雖一面又今川迄に於ける優柔不斷の政策を見縊り却つて反抗の態度を示さん傾向にて三品新市發會の如き六百圓臺の新値を演出せるなど市場の狀態は只問題の先約取引を手控ふる外一般の人氣は旣に再び熱狂的に買進み來らん模樣あり當地綿布界の如きも內地の現狀を眺め一齊硬化し中にも粗布に至つては現物在荷の拂底に買氣頗る猛烈を極め今朝は三エ五百四十五圓迄手合ひ行はれたるも賣物殆ど影を沒し跡五百五十圓を唱へらるゝに至りしが支那方面の輸出好望と前途の供給不足を見越され今後六百圓の出現遠からざるべしとの觀測さへ行はれつゝあり又當地同業者間に行はるゝ先物取引は內地市場の投機的商內と異なり需給の調節圓滑を主眼こして各店既往の成績より打算し何れも其豫定數量の範圍を超ゆさる程度に於て穩質なる商內を行ひつゝあるものなれば內地の先約問題の如何に拘はらす之に付ては頗る樂觀を抱かれ居る丈け何等の疑念なく平靜に取引行はれつゝあり

麥粉引立つ

新米安を懸念されたる製粉界も米價の大勢依然强硬を脫せざる上一時弱さに上りし內地製粉の輸出商談は愈々有望を傳へられ市中人氣減切强調を呈し來れり某大手筋は鯉票の五圓五十五錢處迄買進み既に多少商談纏まりたるが如く連れて一般の買氣も引立ち小口筋は鯉の五圓六十五錢乃至七十錢を唱へ最近値より二十錢方引締まれり

京城正米市場

新米の出遲れと古米の賣惜みに依り模樣にて在米漸次減退の傾き觀に各地氣配の高移りと俟つて今朝の當市場は幾分引締まり氣配なりしが精米筋は內地移出の不引合ひと季節柄にようて兎角買氣進まず玄米は手合せ皆無を告げたるが新白米四斗入七百七十八匁（一叺に付差弁四合）十二月南大門驛渡五十二圓五十錢にて商談纏まりたり

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　山仲買店　電話長九〇五番・四四番・八三三番

滿洲粟好調

滿洲粟は先物に對する望口弗々ありて氣配稍々引締まり模樣なり今朝は四平街古一車十一月二十日後渡十七圓三十錢同新一月產地積十九圓海城古十一月十五日大陸渡し十八圓九十錢にて出來せり

仁川正米市場

新米期を目蔸けて益々强硬を呈し來る傾向にて更に出廻り薄く自然在米減少して米に値を引付けられし模樣なれば今朝は三十錢高の忠淸道標準米四十四圓五六十錢新十二月渡し四十五圓二三十錢見當を唱へ居るも更に商談纏まらず大豆は人氣弛まず長端新物六百五十叺二十七圓にて高杉商店に商談行はれしが跡人氣高含み模樣なり

東京三金の靴　ボックス革製實用長靴

一號 七圓五十錢　二號 八圓五十錢　特製 本十五圓

ボックス革編上　一號 五圓五十錢　二號 六圓五十錢　三號 七圓五十錢　四號 八圓五十錢　五號 九圓五十錢

ボックス革變化　一號 五圓五十錢　二號 六圓五十錢　三號 七圓五十錢　四號 八圓五十錢　五號 九圓五十錢

ボックス深ゴム　一號 六圓五十錢　二號 七圓五十錢　三號 八圓五十錢　四號 九圓五十錢　五號 十圓五十錢

▼目錄寸法用紙要二錢　▼御貸御希望の方は特別割引御便宜御相談に應じ申べく候　御注文の節は靴の種類と足の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候

東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇　振替東京一七二二三〇

種子用 水撰種　くぬぎ　種子用 食用　楊州栗　種子用 食用　平壤栗　收穫用 副業用　農器具（本場直從產）　例年の通り實費多數御用命を乞ふ　朝鮮の元祖　京城本町三丁目　京城勸農園　電話七〇四番　振替京城五六番

陸用舶用吸入瓦斯發動機　新品中古格安品多數　フカシランプ　マグネット　付屬品　其他用品種々販賣　兵庫縣明石町　照會即答　島田貞二商店

毎日來る新發見の療法あり今回人助けの爲めハガキで申込の方へ無代進上す　東京市京橋築地町　電話京橋三九七六　救世院

ね小便と小便近き人へ　全治の證據 キクく禮状が毎日くる

ユートピア　一名金屬磨液　定價半磅六十錢　一磅一圓　送料十八錢　滿鮮一手販賣　京城日報社代理部　振替京城三〇〇

眞鍮、銅、ニッケル、錫、金銀其他總テノ金屬ヲ磨クニ手數ヲ不要品質ノ傷ムコトナク、然モ價至廉ナリ故ニ御家庭ノ常備品トシテ一般ニ歡迎セラル本品ハ鐵道院及川崎造船所其他著名の官公署會社より多大の御用命を蒙りつゝあり

株式會社仁川米豆取引所仲買人　高田仲買店　此の機を見逃す勿れ　見よく、當市場にて問題視され居る十二月限は頑人共に鼻息荒く、月戰を濃厚、獅子奮迅の勢を以つて攻防戰の絶頂に活躍せられつゝあるが、其の崩壞を支持する價値の大勢は、何れに味方を爲すか此際止米不成行に因り放資家は免れ難く去れは弊店は好機を應用して、眼光諸士に一躍千金の好男子たらしめんこすの人に進んで來れ　仁川海岸町二丁目　高田仲買店　電信略符（タツ）振替三八一一　電話一〇〇番・長一九一番

內科胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一二七二・一三九〇番

資本金六百萬圓　積立金操越金百貳拾五萬圓　株式會社十八銀行京城支店　振替貯金口座京城府黃金町二丁目　電話四二〇番・五八〇番　同 新龍山支店　京城府漢江通り拾參番地　電話五五三番　振替口座京城八〇一四番　同 龍山出張所　京城府元町二丁目　電話一八番　銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

痔疾專門　京城明治町二丁目（本町より入る中央）　京城久枝肛門病院　電話二二〇三

支那靈藥　虔脩六神丸　五十粒 貳圓　百粒 金圓五十錢　主治効能 鎭痛、興奮、强心、止瀉、解熱　發兌元 京城長谷川町七五 中華醫院藥局　特約店 京城本町一丁目 山岸天祐堂　同四丁目 宮本千粒堂藥局　南大門驛構內販賣所　平壤驛構內販賣所

無代進呈　何人も金は欲しい、金も欲しい、如何にせば其金は出來得るか、何人も安全に金儲の秘訣　秘訣を大發見し得られるを無代にて進呈す詳細報知せり弊店へ申込む方へ　內容趣意書申越進呈　大阪市北區曾根崎上四丁目　村井商店

MALTHOID　マルソイド　便利瓦中最優良品たる實證を有し、堅牢無比、會社工場の屋根に最も適す　東京麴町有樂町一ノ一（電話本局二一七、四二一八）內外興業株式會社建築材料部（支社）大阪、神戸、門司、京城、大連　京城　黃金町一丁目建築材料部　長谷川町一　堂六自動車部

淸酢値上廣告　一淸酢　大樽　壹挺ニ付　金貳圓値上　一淸酢　桝賣　壹升ニ付　金拾錢値上　原料容器及工賃騰貴ニ付右之通り來ル本月五日ヨリ値上實行仕候間此段謹告仕候　大正八年十一月三日　京城淸酢釀造組合

伊達騒動

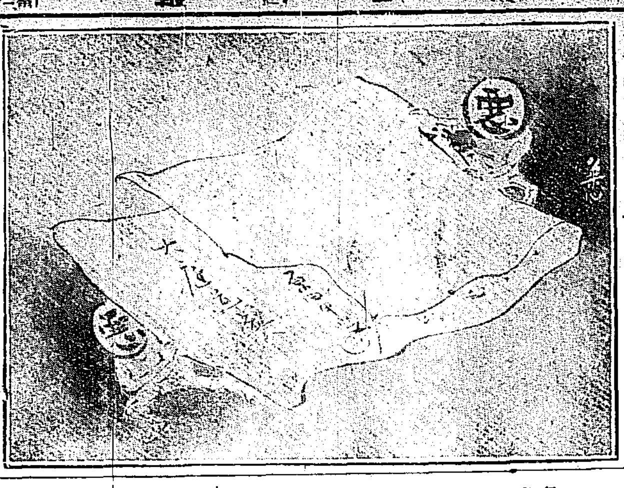
小金井芦洲講演

第四十八席

毒藥を女中に試む

道に下つた道益が 道『エ、御覧の如く配劑を終りましてございます 兵『イヤ、誠に藥體の上からも汝心苦しいことであつたであらう 道『恐れ入り奉ります 甲『無理とは存じながらも君家のおため、これも伊達六十萬石のために致すことだ、大儀であつた』甲斐が四方に眼を配ると遥か離れた向ひの座敷の小座の所に頻りに此方の様子をコウ覗いて居る一人の女がある、忽ち眼に角立つた甲斐直卿 甲『アレ見よ三左衛門大切なる評定の席を窺うて居る彼れなる女、何奴なるか早々引立て參れ 三『畏まりましてございます』神並がバラ〳〵と來て逃げようとする彼の女の襟髪を捉へて 三『コレ不屆者 女『アレ、切望御勘辨を願ひたう存じます、ト、ド切望……』見るとそのものなら二つ足りないと云ふ愚かの女中で名をさせと云ふ者 三『オ、誰だと思つたら其方はさせだな、お奉行樣初め御大切なる評定の席、何で斯様なことをいたした』神並様、どうぞお許し下さいますやうに 三『イヤ、此處で勘辨をいたすと云ふ譯には相ならぬ、兎にも角にも彼方へ引立て參れば御奉行樣にお詫をしろ』とズル〳〵引立て參りました 三『お奉行様へ申上げます、愚かなる者で鼠尾樣お女中、憎い奴でございまするで』是れや目の前で命を取りませうか 甲『ア、是れや〳〵左様な無禮なことを致してはならぬぞ、其方は此の座敷の庭で此方を見て居つた、密事に拘らず、物蔭に身を潜めて窺ふなどゝ云ふことは決して相成らぬぞ、重きお咎めも申付くべきなれど格別の慈悲を以て許して遣はす』と何やら兵部少輔と目顔で話しをして居つたが 甲『就ては唯今お手醫者大庭道益が調合いたした、若館様に差上ぐべき御疱瘡の藥、未だお年の行かざる所のお館、餘り苦しいと不可ぬから苦いか苦くないか其の方に毒味を申付ける、此毒味をいたしたならば今日の無禮咎めは致さぬ、許して遣はすぞ』オイ〳〵泣いて居りましたおさせが『有難う存じます』其お藥のお毒味を私がいたしますれば……甲『オ、如何にも許してやる』とたつた今道益の盛ました毒藥を出した、おさせは命の助かりたい一心で苦い顔をして呑んでしまつた、間もなく血をガバ〳〵と吐き全身が紫になつて其場に倒れて了つた、兵部少輔初め悪人一同、互に顔を見合せて、毒藥の効驗に呆れて居つた 甲『身分なき者は兎角口善悪ないものである、斯くいたして遣はさへすれば後安心』和田三左衛門死骸の取片附けを致せ……道益其の方の塩加減美事であつた、……これを遣はす』とあつて道益に渡しました、押し戴いて見ると

相渡申す一札の事
一、若殿亀千代君御逝去遊ばされ事成就の上は毒藥調合の褒美として其方へ三千石俸字右衛門に二千石宛無相違ふべきものなり後日の爲一札依て如件
寛文三年三月　日　原田甲斐　花押
大庭道益へ



秋の聲

□　狸骨
二百十日程かに暮るゝ鶏を呼ぶ
病後倚牛乳をつゞく朝顔に
谷水の豊かさに茱萸熟れ盡す
落り岩温くもり保つ秋の蝉

□　他山石
山冷ゆの草水踏み涼秋の蝉
石階のぼろ澄む梵唄や秋の蝉

□　柿青
秋蝉に山藤の大豆花晩そき
御廟ぐるりのみ草刈られ秋の蝉

□　瓜青
二百十日路傍の草に掣賣れる
あらし名残の水朝顔を洗しけり
茱萸山の晴れ不忘碑も踏み行けり

□　狸骨
山陵の樹に眼潤ふ秋の蝉
秋蝉や壘に日さす時郷狂ふ

□　柿青
寢しなの嗽ひ此頃はじむ天の川
天の川座に蓆束をつくり居る
背竹を焙ぶり曲ぐ宵の銀河見ゆ
蠟燭の燃ゆる銀河落つる雨
粉挽き白柄の抜け癖や蟲の聲
蟲の聲負ひ灘路筐に觸れ止まず

□　他山石
山銀河渓温泉こぼれの音澄みて
山上石月に冷ゆあり蟲の秋
温泉の戻り山月を來つ蟲の聲

□　瓜青
寺幻燈下駄札を見るゝ天の川
屋根へ出て紙を縫る銀河晴れてあり
アサガホに杉葉入れあり蟲の宿
踏月夜根痢れ樹の葉色もごりけり
蟲且枡かる程裾落ちてあり

俺は寂しい

臨町潤一（京城）

何故あのやうに
怒つて見たのか――考へれば
考へる程俺が分らない
×
さびしさに
出してみた日記帳、今よめば
笑はせる記事悲しめる記事
×
勝手にしろ
かうは激してみはしつれ
面と向へば矢張り寂しい
×
手紙が來る度に
又金の無心かと眼をしばたゝく
母が――見にるやうだ
×
おさなしいと云ふ
噂の主の俺がする
×
この極道な知る人は知る
×
嫁いでもそれだけの自由は
許されると云つた女――
二年二個月端書さへ寄越さない
×
かりそめにも
わたしの歌を愛してくれる
人もある世だ――僞りを云ふ
×
女歌人を訪ねてみやうさ・
床の中で話し合つた
あの時の汝と俺の眞面目さは――

人蔘エキス

京城本町壹◎電話 一四八〇七〇番
㋡津村兄弟商會

十一月五日

（舊）九月十三日　水曜日　▲かのと　とり　九紫　暦　剣鋒　▲先負　▲畢　ひつ

▼九紫　▲損益ともに淡き日なり
▼一白　▲思選甲斐なき事ある日
▼二黒　▲此日は福運に邂逅ふ日なれば心正しく常業を励むべし
▼三碧　▲花やかなる日にて面白可笑き日なるべきも酒色注意
▼四緑　▲心誠實なれば目下の者より立てらる・日にて萬事に吉
▼五黄　▲福徳の舞込む如き日なれど心邪まなれば吉運を逸す
▼六白　▲骨折損に終ること注意
▼七赤　▲世話は難苦の上すべし
▼八白　▲願つたり叶つたりの吉日なれど妄進する時は却て凶也

演藝案内

喜樂館　本町一丁目　電話九七番　有樂　舘改
○當る拾月廿日より特選三大映畫提供○浮世絵け遊び
日活京都派特選映畫松竹大合同
舊劇　小田原城響の太鼓　五巻
明治維新の際小田原藩主大久保加賀守恭順の意を表しました好佞なる家臣佐藤の名に隠れて主家を危くしました大西郷の働きにて安泰に治まると云ふ勤王美談
米國ザアイダーグラフ會社作
人情劇　探偵の娘　全四千呎
日活向島派新撮影本月活動雑誌參照
新派大悲劇　子持ち藝者　五巻
云ひ残したやら聞き残したやうな別れ際梅香はそんな生仲しいことでなくし子泣かあるさんがぬ別れをさせて悲しい思ひて二度の棲を取る身となりました浮世は何故にまゝにならぬのでせう是非泣いて戴かなければなら
○○特別興行の廣告絶對に値上げせず
○○毎日晝夜開館

大正館　上場以來連夜滿員
新派悲劇　つきぬ涙
勤王俠客　安政水滸傳
泰西正劇　人の心

浪花館　京城櫻井町　電話二六〇
浪界の紐放浪士右衛門入道共催
桃中軒小富士丸一行
當る廿七日午後六時開演
▲義士銘々傳　桃中軒富士丸
▲浪花の色鳥　桃中軒小富士
▲水戸巡遊記　吉川八重勝
▲武士道の梅　古川秀山
▲金門北路の嬰　立花龍
▲宗吾神社由來　二富右衛門
▲義烈百傑傳

喜樂館　上場
三大映畫の
連日滿員は
舊劇　小田原城響の太鼓
▲人情劇　探偵の娘
▲新派　子持ち藝者
何れも大高評

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞會社代理店
當廿一日より三大寫眞（入場料普通）
◎實寫『蝸牛の姿態』　長尺
◎滑稽劇『明鏡刃』　長尺
米國ルビン會社傑作
正劇『人の心』　三千呎
▲不貞の妻は如何に離縁悔悟復活か日
▲日活京都派新作
勤王俠客『安政水滸傳』
幕末強藩の頃北小路篤公卿に仕へた忍俠五郎は勤王の志士三國大學を救ふ
郎君に梅源次郎等と交り主家を救助快俠三之助等と大悟の皇國の爲盡碎せる肚烈なる俠客士あり烈婦あり
松之助扇太郎大合同中の劇士あり骨肉の瞳ろ
日活向島派本年度大撮影全四巻
▲新派大悲劇『つきぬ涙』
呼手に此女！汝が清純なる心の鍵は誰が金力よりて綻びんとするか成て夫の苦境は脱？鬼？思はぬ人に想捨てた見るも默視する得ざる悲恋の生涯
毎月一日十五日涙全篇日涙の悲劇
る見ぬ可憐なる子女の悲み
かも涙開闢

小資本成功

するには最善の策と最良の手段を選ばなければならぬ此頃の本物価の高い時一町村一名限りの原百貨商品を特約店となれば百貨商品が來て仕入方法大商人無經驗でも出來忽ち大商人となれる
案内及方法を授く急ぎ郵券封入營業萬世橋際
田日本通商株式會社▼東京神

進呈　りうまち
たゞ上げる自宅療法藥をのまずナヲル法服藥に非ずヨクナル
多年難症服藥非す治す其實驗を病人の爲め廣告ぐ返信料添申込
有名　播州明石相生街　森末本宅

香り豊かに天性の白さを現はす最新發明

ホーカートッパー

此の一滴こそ他に比類なき

淑女の薄化粧料
紳士の隠化粧料
として大評判

▲美しい天然の白さを現はす
▲洗へば麗しき色艶を現はす
▲簡易に巧なお化粧が出來る
▲秋向の化粧料として最も適す
▲衛生上毫も危險がない
▲誰人の肌にも思ふやうに塗く

全國到る處の小間物化粧品店洋品店に販賣す品切の際は本舗へ直接振替又は二錢切手代用にて御注文下さい
定價一瓶金三十錢
送費内地六錢　滿鮮四十錢
本舗　越嘉太郎商店
電話神田特長一四三、長一四一一
振替東京一三■
東京神田和泉橋際

職業

特約店募集
切實なる職業無資本一家内職日給二圓以上製品永久買受
年中無休男女老幼自宅出來る特許品商標實用品
無料見本進呈
大阪天王寺大道一丁目三九一八　豐國商會

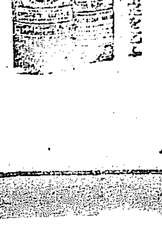
粹珍　娯樂書
●熱狂的大歡迎目録及見本は切手三十錢送付
方へ直に密送す
神戸市元町六丁目　向春社

風引には　大學病院携帶方劑
KAZEPIRIN
カゼピリン
熱　風
本舗　淺野樂天堂藥局
鮮滿無量の特約店に販賣す

賀化病院
京城府明治町一丁目　電話二四四番
内科　小兒科
入院隨意
施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治
金澤醫學士　打田義芳

召せや
葡萄のこの美酒
旦夕の口つけに
君やぐ　君が
血よ　肉よ

赤玉ポートワイン



類似品多し　赤玉と壽屋とをご注意

此れぞ

オバランドの本領たり

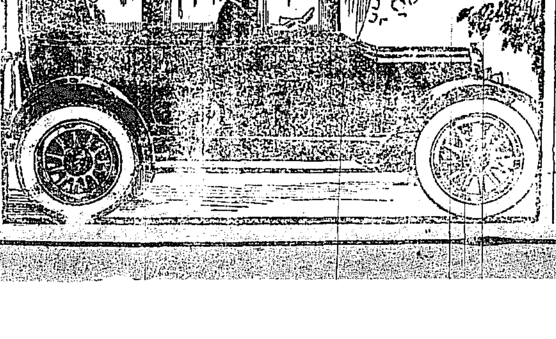
馬力最高
經費最底

◎乘合會社を發起せんとする人は
是非共一應オバランド車を研究あれ
○其車體堅牢、機關完全にして然も揮發油、圓滑油消費の他車に比し極度に少量なるは實地使用者の悉く證明せらるゝ處たり

◎幌型、函型、乘合車
荷物車壹噸ヨリ參噸迄
各種在荷豐富

◎説明書、見積書、圖面御申越次第無料呈送可仕候

ゼーエッチモーリス商會
京城府貞洞拾九番地
ウイリスオーヴアランド會社
米國オハイラ州トレド市



りん病根治の發明

りん病は藥では根治せぬ

藥で治らぬ理由

痳菌が一たび尿道に入れば、忽ち粘膜を侵して皮下に巣窟を作り、一方には粘液の出る無數の小孔内に深く侵入して、此の二ケ所を根據地として盛んに繁殖します、其巣窟と小孔の中には、身體の血も通はねば藥も何も少しも届かぬのですから、何んな強い殺菌藥を服でも又は注入しても、尿道に巣くつて居る痳菌が死んで一時上治するのみですから、從來の藥や手術では根治しないのが當然です

本器で手輕に治る

然るに此の特許根治器を患者が一人で簡單に使用すれば、本器獨特の眞空力に依り、尿道全體に蔓つて居る多數の巣窟を破壞し、且つ無數の小孔内の痳菌も膿液も悉く吸取つて所有根據地を絶滅し、消化法盡き果た數十年の痳病、再發せぬが忘れた樣に根切して、再發せぬ眞正治癒の幸福を得られます、眞に醫家も患者も是非必要な器械です尚本器には一々明細な使用法と使用藥とが添てありますから、誰樣でも直治療し得られます

●男女痳病根治器（併用藥品共）
定價金參圓三十錢送料十八錢
東京市京橋本材木町三ノ二五
新療法研究所本部
振替東京二九四九番
（尚男女生殖器諸病の圖入り説明書御入用の方へは無代進呈す）

大正八年十一月四日 (火曜日) THE KEI-JO NIPPO 第四千三百四十三號 (一)

第五版

京城日報

(年中無休刊)

本社定價 一ケ月金六十錢 … 廣告料 …
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 二 振替京城三〇〇番

…地方に於て年々伐木せ[illegible]…林の…增加するに於ては左なきだに缺乏を告げつつある材木…なり發生する赤松の…を示し居…缺乏せしめ材木を使用すれり難ち現在使…を以て…に今後更らに赤松の…增加せ…相場を引き上げざるを得ざる可れり斯くせば赤松の…も國內…し行政上立法上の手段に依り…

芝罘錢局設置

…を運び來り芝罘に於ける銅元の不足を補ふの外銅元紙幣を發行し且鑄替業を營み以て市場を維…及保定等の地方にも此種の分局設置せられつゝあるが同局の性質は中國銀行に相似たるもの…市民は同局の開設に對して多く反對しつゝある模樣にて是等商人等は同局の發行紙幣漸次多き…が踏むべき運命なるを以て…この憂ひあるが爲なりとす(在芝罘無名生)

新宗教を宣す(一)

宮崎虎之助氏講演

豫言者とは如何なるものであるか、未來のことを豫言する、人の運命或は商業其の他事業の成行を豫言するものと斯う思ふ者もあらう。現に私が…になつてからも訪問者の中には、私が此の意味の豫言者であると思つて來た人が隨分あつた。所が此の種の豫言者は昔も今も世間に澤山ある。けれども私が自ら稱して豫言者と云ふのは目前に人の吉凶を指示するのではない、極めて深い意味のものであつて決して豫言と云ふ文字に拘泥すべきものではない。昔の例を以て云へば釋迦、耶蘇は豫言者である。孔子、ソクラテスも矢張り豫言者である。法然、親鸞、日蓮皆豫言者である。日本に於ける弘法、傳教、凡そ一つの眞理を主張しさうして一代に向つて夫れを宣傳する者、其の中には多少感化の深いもの、淺いもの或は大きいもの、小さいものと云ふ樣な差はあるにしても何れも同じく豫言者である。今晩此處に電燈が點じてあるから明るい、若し電燈を消したならば此の室は忽ち暗くなる。併し電燈が點いて居るから明るいとか、電燈が無くて暗いとか云ふのは御互人間のことである。植木も生きてはゐる、併し電燈がなくて迷惑すると云ふことはない。獨人間に於て電燈が必要である、人間は目を持つて居る、目の無いものには電燈があつても何にもならない。目のある者に於て始めて電燈が其の效果を現はすのである。植木や或は卓子の樣なもの夫れ自身の爲めに電燈を點ずると云ふことはあり得べからざることで又何の意味をもなさない。此の全世界は太陽が朝な夕なに萬物を照らす、太陽が中天高く懸つて其の光りに依つて地上の萬物は有らゆる色彩を發し又生物は生活して行くのである。然るに山や川は夫自身に取つては太陽が照らさうが照らすまいが何の關係もない、生物にのみ必要である。豫言者は世の中の太陽の如きものである。萬物を生育する光である。豫言者が其の道を傳ふる時に是れを聞き是れを見るものは人間である。豫言者の敎へを聞くことに依つて凡ての人々は人間の生活を進めて行くのである。吾々人類の世界に現はれて來た由來、其の歷史を見るに必ず此の據る所があり極めて深遠なる意義を存して居ることを見出だすのである、凡そ人間は其の心の中に大切なる問題を夫れ〴〵抱懷して居る、人生の意義は如何、人間は何の爲めに生まれて來たか、人間は如何なることを爲さなければならないものであるか、是等は總ての人が考へて居ることである。其處で斯樣な考へを一つに纏めて表現しなくてはならない、茲に於て豫言者の必要があるのである。

對支貿易と米國

大阪支局 護山生

◎米國は支那に經濟的勢力を扶植せんとするの久しく米支兩國の貿易關係の如きも夙に密接なりしが歐洲戰爭以來は一層米支貿易の發展と共に米國の對支放資經營も鐵道、鑛山、電信、電話、運河、土木工業、電氣事業其他製造工業等に對し機會ある每に投資して利權を獲得し且經營に任ぜんとするは頗る顯著なり

◎米國は單に支那に向つて貿易の發展を計り企業投資を爲さんとするのみならず其財政を監督し鐵道を管理し支那を自國の經濟勢力下に支配せんとするの野心を有す…が如くなるは米國一般の意嚮に非ずとも一部在支の米人は支那を自國の勢力下に支配すべく努力せると同時に日貨排斥の如きも極めて露骨なるは之れを後援し居れる所以と云はざるを得ず

◎支那の領土保全、機會均等門戶開放主義は夙に日本の聲明して其保障に任じつゝあるも日支兩國の關係は條約上國防に關し又經濟に係はりて共に共存の位置にあれば自ら他の歐米各國と異なる所あるは承認し居れば之れ日露若くは日獨の戰爭により多大の犧牲を拂ひて條約上の旣得たる滿蒙及び山東の利權を保有するは當然の事と云ふべし

◎歐洲戰後の今日支那に於て經濟上最も競爭の地位に立つものは日、英、米の三國なるが就中戰時中に於て無限の富力を蓄積したる米國の支那市場に飛躍せんとするは特に注目すべき所にして米國政府が常に專門技師を派遣して支那の商業狀態並に交通及び產業を調査せしめ支那に對する經濟的活動の一端として米國商務省に極東貿易局を設置し支那駐在の貿易事務官を常設するが如く頗る積力を傾注し居れり

◎米國が戰後の世界的經濟戰に策應するの準備として全世界を十三區に區分し之を資本的に支配するの計畫を企圖し居れり、極東部は殊に支那に力を注ぎ對支貿易に就ては如何なる研究をなし支那に於ける米國商品の好適なる販路と一方支那天產物の開拓の餘地あるを以て其利用に向つて努力すべく計畫して事每に日本の壓迫せらるゝは對支貿易者の大に鑑みざる可らざる所なり

生別死別

=(不許讀轉載)= 服部硯月

第卅六 晚鴉

ふむ斯う仕やう、明日の晚日の暮れた頃から近くで逢ふ事にしやう夫れから妻に云つて吳れ給へ餘り繰り言は云はんやうに、旣に斯うした悲しい女の常ぢやが、然し悲慘な運命に呪はれた以上は何事も定とあきらめるより外に仕樣がない、泣いたり口說いたりして却つて事の面倒になる許りだ。更ごうにもならん、餘り泣いたり口說いたりしては人目に付いて却つて爲にならん夫から要には豫め云ひ含めても可し、言ひ含めんでも可し、晚姉の若枝には絕對に秘密にし且悟られんやうにする事ぢや、萬一悟られては自分の苦心も水泡に歸する、若し機會があつたら、僕が受取つてから言ひ聞かす――』

井上は暗淚に咽んでゐたが、濡れた瞳孔を開きて

『承知致しました、して明日の晚は何時頃に參りませうか』

『左樣…餘り早いと參詣人や何かで人目に付き易いから、十一時過ぎにして吳れ給へ、誠に重ね〴〵君には御迷惑をかけて濟まんが、萬一時間の繰合せが付いたら、君附き遣つて吳れ給へ、餘り遲くなつて女の獨步きも好ましくないから』

『畏まりました、勿論お伴して參ります、ごうせ此の頃は閑散ですから』

『夫では井上君萬事賴んだよ』

『承知致しました、夫にしても何故斯う三浦家は呪はれるのでせう』

井上は餘りの儚うしさに堪へやらず思はず斯う云ふと、三浦は眼を瞬して井上の顏をちら〴〵眺め

『君までさう愚痴を云つて貰つては困るぢやないか、何事も命ぢや、誰をも怨みやうがないいつ迄云つても限りがないから井上君、今日は是で別れることしやう』

『はあ』

井上は猶別れ兼ねて逡巡してゐる。

『では左樣なら、』恐らく腰を掛けてゐて足に痲痺が來たことゝ三浦は危さうに立ち上つた

『では明晚又お目に掛りませう左樣なら、お危う御座いますから御大切に』

『あ、有り難う、ぢや失敬すること』

兩人は見返り勝ちに右と左に別れた、井上は角まで來て町の方に曲らうとする時今一度振返つた。三浦の影はもう團子坂の方に消えてゐた。

晚鴉が一羽淋しさうに鳴いて過つた。

蘇峰氏近信

德富蘇峰氏は今春來の宿痾にて今尚ほ相州逗子樓山老龍庵に於て靜養中なるが近頃本社中村健太郎氏宛左の近信ありたり

啓上錬膽錄及貴翰拜誦候、然る處は興味利益併行の好著也、何卒讀者の一人も多からん事を祈り申候、聖仙とは何人に候哉、綿も亦不凡也、近年病軀も漸くして良好に候、せめて本年の色を背地にて貰し度候處人事不如意徒らに思望する耳(中略)匆々不一

大正八年十月卅日

京城北門外より移轉したる若當地魚樂園の江年釣魚の地に滿開也、此にて貴錬の秋を偲び候。

神仙爐

分り易き川柳(二)

劍花坊

試みに此に、もつともわかり易き、川柳を知らざる人にもすぐに其面白味のわかる川柳を擧けて見よう、無論それは古川柳の中からである。

縫びを縫いて步く花の山

これは花見に打つた幕の『縫び』だとは誰にもわからう。

書籍の枕四五冊引ぬかれ

これも『四五冊』となるので、書籍を枕にしてゐたとは分らう。

我物で煙草は人に强られる、

煙草盆だけ出して、『さアごうぞ一ぷく』といふのを笑つたので客の人が蓋を開けて進めるのでけ無い。

傀で褌しめる雨宿り

こんなこともよくある。

抱た子に敲かせて見る惚た人

乳母の戀である。

移轉廣告

拜啓益々御淸適奉賀候陳者弊店從來黃金町一丁目六十番地にて營業罷在候處今回業務擴張の爲左記の處に移轉仕候間不相變御愛顧の程奉願候

大正八年十一月

開平炭輸入元 株式會社 松昌洋行 京城出張所

電話長壹七七五番

移轉先 京城府黃金町二丁目八十四番地

▲天下の學生諸君へ急告!!

本多孝一先生新著 (定價…郵稅…錢)

新案 英語急速暗記法

▲卅日間に重要英語全部を暗記するは易々たるのみ
▲本書により一語を暗記すれば數十百語自ら暗記し得らる
▲單語の智識に乏しきは一般學生の痛切に感ずる所この缺點を補ふは實に本書にあり
▲一日早く本書を讀まば一日早く高等諸學校入學の優先權を得ん

發行所 東京市…區…町 松邑三松堂

最新刊 名將初陣回顧錄

寺內元帥長谷川元帥大迫大將閣下題字 後藤矢峰先生著

代表的名將が初陣の思ひ出を趣味ある筆に精叙せらる一讀血湧肉躍る壯快あり血あり淚あり幾多の敎訓と史談あり武士道の精華紙面に充滿す

四六判…美本…定價壹圓六拾錢…

發行所 東京… 振替東京…七八〇番 中央出版社

學生募集 京城自動車講習所

▲規則 專科▲普通科▲校外生科ノ三種トス專科ハ每月十五日新學期ヲ開始シ二ケ月卒業トス入學ハ隨時…自動車運轉練習…

注意 …

京城府黃金町二丁目角 振替口座京城七一八八番 電話長一三六〇番

活動名優寫眞帖

花形臨時增刊

大評判 賣切ぬ内に早く

振替京城一四一七七 芝文社發行

▲見落すなかれ國家社會的の大發明!!

▲本品一度世に出でゝ如何に社會を驚倒しつゝある?

近來の物價騰貴は殆ご際限がなく、爲に工場は原料高に惱み、一般家庭は生活費の膨脹に苦む狀態であります。こころが茲に生產費及び生活費の低減を計る國家社會的の大發明が現はれました。又新社製造の萬年炭を御使用になれば木炭コークス石炭の消費高を優に五割以上節約することが出來ます。炭價の騰貴は最早憂ふるには及びません。一刻も早く萬年炭を御使用になつて炭價半減の目的を達せらるゝが肝腎です。

◎東京工業試驗所試驗報告拔萃

木炭 五〇〇瓦	九七五度	萬年炭混用	一〇一〇度 增三五度
石炭 五〇〇瓦	八四〇度	萬年炭混用	九三〇度 增九〇度
コークス 三〇〇瓦 木炭 二五〇瓦 混用	九八〇度	萬年炭混用	一〇三〇度 增五〇度

備考 …七輪を用ひて燃燒せしめ其溫度を測定す

本品を一度買つて置けば一年位は用ひられこれを使へば燃料が其時から四割で足る

◎博士學士敎育家工業家數千名の實驗賞贊の一例

石橋梅吉氏發明の萬年炭を檢するに實に其名の如く耐久力永く火力を增援すると原炭の五割以上にして現下の如く定價昂騰のときに當り最緊要有益なるものと認む

東洋製炭株式會社 專務取締役 松原茂久

萬年炭

王子工場

開業披露に際し全國各郡市に元賣捌店募集

發展以來註文殺到僅々二ケ月有余にして東京に二大工場、神戶に一工場を建設せる我又新社は更に晝夜兼行當工場を新設し相當の製品を提供するに至る蓋し未曾有の事と信ず而して旣に賣出したる家庭用のものは世の定評あるも今更めて數步を進めたる特製品を提供すると同時に堅牢精緻其の完全を保證して工業用各種を提供す

元賣捌 希望の方は見本及規定書請求實驗の後契約せられたし

東京府王子町堀の內九〇二番地

又新社王子工場營業部

電話小石川八六〇番 振替東京四八九二番

▲各家庭必備可驚大經濟の萬年炭!!

▲工場飲食店に於ける燃料節約の最新發明!!

■朝野の激賞を受つゝある萬年炭の種類

名稱	一箱の個數	定價	摘要
焜爐用	一五	三十錢	家庭に於て焜爐(七輪)に適す
同特製品	七	五十錢	前の分と同じ原料に工業用と同樣…
ストーブ用	五	五十錢	ストーブ湯殿菓子製造飲食店に適す
工業用一號	一五	六十錢	鍛冶小工業菓子製造等コークスに適用尤も適當
同 二號	一五	一圓	同上
同 三號	一〇	二圓五十錢	同上
同 四號	一〇	五圓	ボイラ用に適す
同 五號	一〇	七圓	同上

◎荷造費及送料

甲 (焜爐用特製品一函 ストーブ用一函 工業用二號一函) 二圓五十錢

乙 (焜爐用並製一函 ストーブ用一函 工業用一號一函) 一圓五十錢

右外特に此希望の方には定價の二割五分を加送せられゝばこれでも御送りいたします 追て焜爐用荷造は紙函五打入を木箱入一箱とす

完備精到の謠本

大正改版 觀世宗家謠曲本

廿四世觀世元滋先生校訂 豫約募集

世界の趨勢に鑑み多大の歲月を經て茲に典範的謠本を完成し現代の有らゆる要求を滿たし無類しの新書を見て餘蘊なし世に類書は廣しと雖も…優越せる君の確實最善なる指南者は宗家の正本を措いて他に無し

理想的補修の一斑

◎本文上の補修 ◎謠上の補修 ◎拍子上の補修 ◎各種の心得 …

◎申込略規◎ 見本呈進

申込十二月廿日限

申込所 東京神田區…町一十ノ一 京都二條通…町 檜大瓜堂 振替東京三五五二番 大阪三六一八一番

新築紀念 大懸賞俳句募集

投吟規則申込次第直ちに呈す 申込所東京市赤坂乃木坂…文社

名刺 京城…町 中田曾成社 電話二一〇五番 振替京城四七六二

第拾參回決算報告

大正八年自四月一日至九月卅日

貸借對照表

資產之部 / 負債之部

科目	金額
株金	[illegible]
仲買信認金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
純益金	[illegible]
計	[illegible]
未拂込株金	[illegible]
貸付金	[illegible]
賣掛金	[illegible]
什器費	[illegible]
備品	[illegible]
有價證券	[illegible]
受取手形	[illegible]
銀行預金	[illegible]
現在金	[illegible]
計	[illegible]

損益勘定

科目	金額
當期總益金	[illegible]
當期總損金	[illegible]
此內譯	
營業費	[illegible]
給料及手當	[illegible]
社債利息	[illegible]
賃借料	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
配當金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]
計	[illegible]

右之通リ候也

大正八年九月三十日

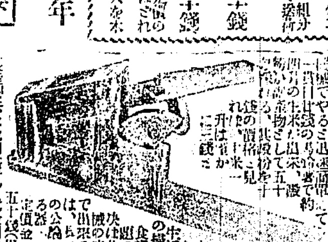
京城府本町丸水產株式會社

取締役社長 山口太兵衞
取締役 和田常市
同 秋吉富太郎
同 中村再造
支配人 伊熊延
監査役 關繁太郎
同 林田金次郎
同 進辰馬

前記之各項調査候處相違無之候

製造說法及說明書付(代金引換) 又は金二圓八十錢の事

東京芝區芝園橋際 國食改良研究會 振替東京四四〇七二番



馬鈴薯米 林式剪理器

…決して此器の…食用…の擴張…

公告

一、…百個外一件

右來ル十一月六日午前十一時入札ス希望者ハ府門前ノ掲示ヲ見ヨ

京城府

公告

一、京城道路用第五回碎砂利採取ノ事

右來ル十一月五日午前十一時入札ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ

京城府

…一號…第二號…石各號別ニ付…四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

ダヌンチオ氏 飛行決行乎
羅馬東京間飛行徑路 八機雁行の一大壯擧

詩人ダヌンチオ氏の計畫したる羅馬東京間飛行準備の爲め伊太利飛行將校ツーリー大尉外五名の中尉と二十五名の兵士は上海に到着せり。本計畫は未だ曾て上海訪問のことを聞かず當初は廣東に着陸し漢口經由北京に飛ぶべしとのことなりしが今回計畫變更せられ支那の南方に飛び來れる後海岸を縫ふて上海を訪問することゝなりダヌンチオ氏の計畫に依る飛行徑路は羅馬、サロニカ、アダリヤ、アレツポ、バグダッド、バスラ、バンデルアッバス、チャバ、カラチ、デルヒ、ベナネス、閣貫、バンコク、河内、廣東、福州、上海、青島、北京、滿洲、釜山、大阪、東京の順序にて前記將校等は要所々々を準備する爲め又豫備飛行機運搬の爲め先發として上海に來れるものなり上海にて一行は解散し近日各方面に向ふことゝなれり。今日知り得たる所に依れば飛行機は八臺飛行する筈にて内五機はスヴア一型、三機は彼の有名なるガプロニ擲彈飛行機なり、ダヌンチオ氏はロカテリ中尉を案内役とし彼が曾て戰時宣言書を撒布する爲め維納の上空を飛べる同型のスヴアー一型を以て飛行すべく其の速力は二百十五粁米にて羅馬より東京へはカラチ、上海を着陸地點とし三足にて飛ばんとするものにて飛行者中には近頃アムステルダムに飛べるアラックパーペ中尉あり、氏は速力二百八十粁米のＲＢ型を用ふべく又居るロカフイー大尉も參加する筈同時にダヌンチオ氏は一隊を率ゐて飛行すべしフユーメにて目下軍事多忙なる詩人が此の計畫を遂行するや否やを危む者多きも上海に着せる飛行將校の談に依れば今日迄此の飛行計畫を困難と見て中止するの要なかりしと（上海電報）

米大統領宣言書

ワイルソン大統領は二十五日坑夫の同盟罷業を不法行爲なりとし暗に兵力使用を仄かせる宣言書を發布せり（華盛頓電報）

全米禁酒令實施

全米禁酒令は二十八日より實施せられたり（華盛頓電報）

英勢力驅逐協議

阿富汗斯坦委員は莫斯科に於てレニンと會見し同國より英國の勢力を驅逐する方策を協議せりと傳へらる（倫敦電報）

總理案と參議院

新任式總理案は大多數にて衆議院を通過したるが四日開會の參議院も大多數にて之れ又通過すべしと（北京電報）

大政黨組織乎

天津を根據とし一大政黨組織の議復活せり（北京電報）

和議解決一策

新内閣の成立を機とし各省督軍連名にて南北問題解決方を奏し徒らに論議に趨る双方の論客を排斥せんとする計畫進行し居れり呉光新氏の各方面遊説も亦之に關係し居れり（北京電報）

伊支合辦協議

一日伊太利公使は陳外交次長を問ひ伊支合辦銀行並に伊支合辦汽船會社設立に關し協議し資本は伊國より支出する事等を陳述せり（北京電報）

女子無資格撤廢

衆議院は八十四に對する百七十一の多數にて女子無資格撤廢……

外蒙古代表要求

外蒙古代表四名は外交部に赴き庫倫自治取消を條件として政治宗教の權限に就き要求し尚露支關係に就き意見を陳述せり（北京電報）

四省對英決議

四川省議會は甘肅雲南陝西の省議會に對して檄を飛ばしたる結果一致して西藏問題に關し英國に反抗する事を決議せり（北京電報）

砲擊問題抗議

露國軍艦黒龍江にて支那砲艦を砲擊せし爲め張作霖氏は政府に向け露國公使に對し嚴重抗議せん事を求め且つ露國の態度に因りては自衛策を講ぜん事を陳述し來れり之に關し政府は近く北京オムスク兩政府に對し抗議を提出す可し（北京電報）

飛機借款打合開始

飛行機借款に關聯し英國スマッツ中佐と支那陸軍交通兩部との間に飛行機着陸地設置に關し打合せを開始せるが右地點は張家口南苑其他なり（北京電報）

物價激騰趨勢
日本のみ益々昂騰

戰後歐米の物價が如何に變動すべきやは經濟上一般に注意せられつゝある所にして昨年休戰問題の起りし以來歐米物價は低落の傾向を生じたれば戰後物價は漸落の形勢を持續するに至らんとの觀測を生ぜり然るに本年四月頃より物價は又復騰貴に向ひ紐育には五月、九月に低落したる外他の各月騰貴し又倫敦にては五月以來騰貴を繼續し戰後の物價は今後尚は騰貴を持續するに非ざるやを疑はしめつゝあり斯の如く歐米物價は戰後再び騰貴に向へり而も其騰貴率は戰時の如く顯著ならざるに反し我國の物價は戰後に於て益々昂騰の勢ひを示し開戰當時に比し其の物價は今や各年平均指數に於て米國を凌駕し英國に伯仲せんとするに至れり試みに東京、倫敦、紐育の物價指數に付き世界大戰開始の第一年（大正三年七月より同四年六月迄を第一年とす以下之に準ず）以後各年物價平均指數を示せば左の如し

年次	東京	倫敦	紐育
開戰後第一年	九九・五	一一六・〇	一〇八・九
同第二年	一二一・八	一四六・〇	一二四・二
同第三年	[illegible]	一九八・八	一八四・三
同第四年	一〇〇・五	[illegible]	[illegible]
同第五年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考　右指數は大正三年七月の物價を百として算出せるものにして東京物價は平均指數倫敦物價は平均指數紐育物價は月初物價指數を基とせる其平均指數なり

即ち東京物價指數は開戰第四年迄は倫敦紐育の物價指數に比し著しく低位なりしが開戰第五年目に於て紐育の物價指數を遙に超過せるを見る而して其騰貴は本年に最も其勢を高め來り其各年平均指數に於て前表の如く未だ倫敦の下にありと雖も各月指數は紐育を著しく凌駕せると共に倫敦を遂に超過せり試みに大正七年七月以後の各月物價指數を比較表示すれば左の如し

月次	東京	倫敦	紐育
大正七年七月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同八月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同九月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同十月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同十一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同十二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正八年一月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同二月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同三月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同四月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同五月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同六月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同七月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同八月	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同九月	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考　指數材料は前表と同じ

斯の如く我が物價騰貴は本年七月に入り倫敦紐育を凌駕し同月に於ても益々騰貴の趨勢を持續し殆んど底止する所を知らざらんとせり然るに米國に於ては六月以來騰貴を持續したるも物價の九月に入り低落を示すに至れるが右は同月に入り米國政府は暴利取締令を實施し且つ軍需品の拂下及び食糧品の輸入をなしたるが爲めにして同國物價の大勢の今後果して低落するや否やは疑問なりと雖も兎に角英米に於ける物價の騰貴は今や漸く衰へんとするに拘らず我物價の騰貴は今後益々昂騰するに至れるは最も注意を要すべき重大現象なりとす

皇后宮行啓

皇后陛下には三日午前九時十分御出門上野公園にて開催中の帝國美術協會、美術展覧會等に行啓あらせられたり（東京）

寺内伯爵薨去

寺内伯は三日午前全く危篤に陥り壽一、佐兒玉伯夫妻同令孃毅雄中尉福原氏夫等に護られつゝ正午終に薨去せり夫人は家人に抱かれつゝ伯の病室に至り人筆に葡萄酒を含ませ伯の唇を潤して最後の別れを告げたり、邸内は倏ち哀毛に閉ざされ闃として聲無く遺骸は三日夜麻布本邸に送られたり（東京特電）

特旨陞敘

寺内伯病氣危篤の報天聽に達し左記特旨陞敘の御沙汰ありたり（東京特電）

元帥陸軍大將伯爵　寺内正毅
敍從一位授大勳位菊花大綬章（特旨）

鮮滿片々

綠肥作付收穫
咸南道本年綠肥作付反別は五十二町八反にして之を前年の六十一町七反に比せば稍減少し又其收穫高は十二萬八十貫にて前年の十九萬四百九十貫に比し大なる差額あるが右は旱水害の被害を蒙りたるが爲め也と云ふ（元山）

鴨江舟楫杜絶
鴨綠江に於ける船運は最早結氷期に近付きたるを以て既に高瀬船、戎克船の航運中止されたるが新安縣より下流は舟運し居れるも夫れより上流は舟楫の便杜絶し居れりと（成興）

元高間自動車
元山、高城間自動車運轉は其後該路線……

過般の水害
過般の水害にて未だ復舊せざる爲め開始の運びに至らざるも新式自動車一臺は既に著し居り更に本月中に二臺の來元を見る可ければ路線復舊次第直ちに開業す可しと云ふが右三臺中二臺は往復に充て一臺は元山通川間の往復に充つ可しとの事也（元山）

十月檢米成績
十月中の木浦檢查米は前月に比し非常に減少し七年産は總額一千六百十八叺に過ぎず其成績は三等千三百九十九叺不合格二百十九叺にして八年産は總額七百五十叺内二等三十七叺三等七百零八叺不合格十三叺等なりと（木浦）

群山出穀漸增
群山港の出穀も漸く旺盛となり……每日約九百叺位にて新古米の……

五分の有樣
五分の有樣なるが今後は日を經るに從つて其の數を增大するに至るべし而して本年の米質は全般に亘り良好なるも出殼當所は殆んど米多がりしも爲め當局者も稍苦心を拂ひたるも昨今に至り乾燥十分なるに至りたり（群山）

上連間電報故障
數日來上海大連間の電信に大故障を生じ未だ復舊を見るに至らざる事とて電報は甚だしき遲著となり上海市場の銀相場も知る能はざる事情にある事とて正金銀行の爲替相場の如きは全く暗中に彷徨し居り從つて取引市場にて見當も附け難く賣買共手控へられつゝある程にて鈔取引の如き全く活氣なく商内は平日の四分の一にも達せざる狀況なり（大連）

興業債劵賣出
日本興業銀行債劵は十一月一日より向ふ三十日迄賣出を開始したるが利子は年七分にして取扱店は朝鮮銀行本店同奉天大連兩支店なりと

紐育鮮銀職員
十一月一日より開店したる鮮銀紐育出張所の職員左の如し
所長 藤卷太一、助役 武夫 所員 坪井信一、高橋之介 上村宇多彌、島德

以文會例會
以文會秋季例會は去る一日午後一時より貴族會館に於て開會せるが來會者の重なる者は會長伯爵李完用、子爵閔丙奭、趙重應、鄭丙朝、李源濟、朴……

各町洞總代招待
谷京城府尹は四日午後四時各町洞總代を京城ホテルに招待し懇談會を催すべしと

人事消息

▲岡野義之助氏（大阪朝日新聞編輯局長）故橋氏葬儀の爲め二日夜釜山着　十日午前十時北行せり（釜山特電）
▲濱田代議士　三日夜釜山上陸……
▲小山桂三氏（鈴木京城支店長）同日午後……列車にて北行（釜山特電）

鳥瞰錄

……

鴨綠江水電內容
東洋唯一の有利なる計畫

……

進展を見ん
……

一千四百餘尺
……

消化方面
……

朝鮮の新航路

……

學校組合費賦收督勵狀況

……

海運界近況

……

淸州の奉祝會

淸州の忠淸北道廳にては天長節……

東京株式特電
大阪株式
下關期米特電

▽疾病の根治と健康の增進を望む人に△
酸素透熱療器 OXYDIATHERMIE
オキシデアテルミー
冨士醫學士考案の本器は磁氣と熱電流との力に由り空中の酸素を自在に身體に攝取吸收せしめ血液の循環を盛にし諸機能を活潑して眞に諸疾病を根本的に治癒す故に一度本器を使用すれば脈搏は著しく減少し呼吸は深大となり過度は增加し次で食慾の亢進、通便の快通、解熱、鎮痛、安眠等を來し神速に生理本能を回復す然も電氣の如き不快の刺戟なく効力永久使用簡便なり
▼定價 家庭用金貳拾七圓（送料卅六錢）營業用金參拾七圓（送料六十二錢）
實驗說明書進呈
東京市芝區南佐久間町二丁目一番地（電車道）
合資會社 オキシデアテルミー商會
電話新橋一五二三番・振替東京三九五七一番
▽代理店希望の士は申込まれよ!!

朝鮮及滿洲
十一月號出（第百四十九號）價一冊金四拾錢一ケ年前金稅共五圓
◎朝鮮の時局に對して……數名士
◎國際聯盟と植民地問題……蜷川博士
◎歐洲の改造……山崎博士
◎聯合國元首謁見の印象……石川半山
◇朝鮮人に誨ふ……釋尾旭邦
世界に於る日本の位地を論じて朝鮮問題に及ぶ　釋尾旭邦
◎朝鮮の教育に就て　柴田學務局長　◎朝鮮農業改善策　本田博士
◎鮮人學校艷訪記……一記者　◎蠶業振興策を論ぜよ　砂々盛史
◎平井學士の那蘇教論　工藤武城　■龍山無線電信　一記者
◎支那綿業の將來　生　■スマトラの叢界　當野力夫
◎潛水艦講話　福田大尉　■東京通信……飛魚漁郎
◎呼吸器より入る傳染病と豫防　高木學士
■滿洲に於ける銀相場は如何にして定まるか　大連支局生
■小說 惹かる方へ　大貫金冠　▲琵琶界のぞ記……ビワ法師　▲文藝　▲滿鮮問答　▲風聞騷錄
發行所 京城南山町一　電話二一五〇　朝鮮及滿洲社　振替京城一三一番

大島紬
本場大島紬珍柄荷著
弊店は月賦販賣も乘居候電話又は葉書にて御下命被下候へば持參可仕候
京城本町一丁目五十番地
織元出張 勝久京城支店
電話一九〇一番

愛用者諸賢によって
夫から夫へと擴まった
エグロン石鹼
品質は其の愛用者により證明された
本舗 内外興業株式會社
特約店 夏川京城支店

朝鮮唯一
永登浦
大塚釀
内地產よりも優りて上品な
高等薄色醬油發賣
大樽小樽有之候
京城明治町 大塚京城支店 電四〇一番
京城本町二丁目 前田酒店 電一三七番
京城本町一丁目 佐藤牧本店 電二四二八九番
龍山驛前 中崎商店 電五五二番

所謂獨立運動の眞相
悉く私腹を肥さんとする不逞鮮人の惡謀み

不逞鮮人の所謂獨立運動が夢想に等しき愚擧なる事は今更言ふ迄もないが更に獨立運動の資金と稱する者が徒らに是等不逞鮮人の私腹を肥すに過ぎざるに於て愚民と雖も迷ひの夢を醒まさずには居られないであらう。見よ左の實例を……

白初月（二）慶尚北道義城郡丹村面井方里僧侶李道昕（三）右兩名は本年四月入城市内各所に轉宿し革新公報なる不穩文書を發行し且つ上海假政府及び吉林獨立軍に靑年を派遣し獨立運動を爲すと吹聽し資金と稱し多額の金員を募集し該金を以て料理屋妓生家等に於て遊蕩し居りしを十月二十二日本町警察署に逮捕取調中なるが同人は枕の中に五百圓を隱匿し居たり

歸鐵職工が獨立運動　不穩文書配布

本年八月以來東大門市場及び市内有志の者等に不穩文書を配布すること頻りなるより鍾路署は部下を督勵し其配布者を搜査中京城府昌信洞八十七番地鐵業業京城徒金相玉（二〇）は常に學生等と交際し且つ耶蘇教徒なるより數日間本人の行動を尾行偵察中益々怪しむべき點あるより十月廿一日一齊に搜査し先づ左記の如き不穩文書を發見し其大部分は昌信洞高元成に託し隱匿せるを發見し續いて本人の實母の別居せる崇仁洞百三番地に於て謄寫版をも發見するを得たり（本人の印刷したる文書の種類）△革新公報△國民解惑△臨時政府後援會趣旨書△政府後援會規定△誓約書（本人の携帶せる文書）△大韓國民大會規則原案△同右趣旨△誓約書

運動資金で遊蕩す

慶尚南道咸陽郡馬川面當時京城府臥龍洞二八僧侶白寅仙事

五百圓出せば大臣に　愚民を欺むく

京畿道振威郡北面下北里當時京城府通洞一九九番地曾成學校卒業生尹泰昊（二〇）京畿道金浦郡陽城面麻道里當時京城府益善洞閔内極（二八）右の者等は假政府員と稱し『大韓國樞密部之印』を僞造し資金募集の文書を作製し其印を押捺し地方民を欺き金員を募集し且つ京城府齋洞居南某に對し金五百圓を出せば假政府の中心人物たらしむべしと金員騙取の運動中を高陽署に於て探知し逮捕取調べ中

財務總長の印で金員を募集

全羅南道長城郡森溪面上竹里當時京城府樂園洞李起淳（三）全羅南道高敞郡姜君右の者等は獨立運動と稱し假政府員等が各地を徘徊するや己等も之れに倣ひ獨立運動を名とし金員を募集せんと計畫し『財務總長の印』と稱するゴム印を作り之を押捺して地方農民を欺かんとしたるを高陽警察署に檢擧取調中なり

巡査私腹を肥す
獨立運動を種に地方民を欺むきて大金を騙取

本年九月二十日憲兵補助員より轉科の巡査金昌動は豫て刑事の職に在り不逞者を檢擧したることあり中には僞物の假政府員等が甘く地方民を欺き居るを知り自己も之に倣ひ憲兵隊通譯たりし犯益源と謀り江原道原州郡原州面の富豪の子安石元當二十年が所有田地を擔保として調金中なるを聞き十月初旬以來料亭長春館及び大東館等に誘出し青年にして獨立運動に參加せざれば男兒にあらずと煽動し假政府に提供すべしとて田地を擔保に一千五百圓の大金を調達せしめ

其の口錢として一千五百圓を取り其他二百餘圓を騙取し猶進んで之を欺かんとせるが第三部員に發見され逮捕せられたるが其の際川副刑事に微傷を負はしめたるも遂に本町署に引致取調の上檢事局に送致せらる

故明石大將哀悼式　（上）玉串を奉奠する齋藤總督（下）參列者

哀悼式
故明石總督　齋藤總督其他參列三百名

故明石臺灣總督哀悼式は三日午後四時より憲兵隊司令部前庭に於て催されたり。祭壇には黒枠の額に故總督の寫眞像を祀り、肌寒き夕風に幣帛の戰ぐも傷まし。參列の諸員著席し定刻に至るや先づ修祓、降神の式あり嚴かなる奏樂と、哀しき奏樂の響きて神饌獻ぜられ、齋主祭詞を白し諸員敬禮し次に發起人代として國分法務局長、李完用伯、臨澤京城憲兵分隊長の弔辭朗讀あり次に齋主恭しく祭詞の前に進みて玉串を奠し、次に齋藤總督、李完用伯、淨法寺師團長其他順次に玉串を奠し右終つて神饌を撤し昇神の式ありて式を終りたるが此日の參列員は官民軍人等の名士を網羅し約三百名に上れり

香典取纏送附　故明石

大將に對する香典取纏め送附方希望するものは便宜憲兵隊司令部に於て取扱ふ筈に就き希望者は十一月十日迄に同隊副官部へ申し込まれたしと

縮み上る
妓生連中　嚴しいお布令

近來不逞鮮人煽動强要に依り京城四券番の妓生中酒間に於て或は不穩思想を宣傳する者ありし本町鍾路兩署では過般大々妓生を召喚して呉々も不心得のなきやう懇諭し更に今後萬一にも不心得者を出したる場合は假借せず處罰すると共に其の營業をも禁止すべしと嚴達した處妓生連は縮み上がつて早速請書を提出した所こは知るや知らずや昨日大韓青年自決團、同愛國婦人團等の名稱で妓生に對する不穩文書數百枚を謄寫版刷にして漢南、大正、新昌、漢城の四券番に送附したものがあつたが直ちに警察官憲の探知する所となり不穩文書は全部押收されて了つたと云ふ

電車衝突す　負傷者三名を出す

三日午前八時四十分頃鍾路一丁目普信閣前の電車交叉點にて東大門發練兵場行電車五十七號が停車したる際餘り行過ぎて危險狀態にあるより逆進したるに前進と誤認したる義州通り行電車六十三號が進行し來りしに五十七號が突然停車せし爲め六十三號は五十七號に衝突し兩電車共窓硝子全部を破壊したるに過ぎざりしが恰も五十七號に乘合はせたる花園町百九十九番地山口久太……

我郵便列車
敵の地雷に懸る
即死者六名を出す

去る三十一日我が郵便列車ニコリスク附近に於て過激派の地雷にかゝり六名即死せり（ニコリスク特電）

奉天で發見した各種の爆裂彈
其威力は非常なもの　姜宇奎とは關係なし
岡本警務課長談

九月十五日奉天に於て爆彈を發見したる事は未だ讀者の記憶に新なる所であらう事件勃發と同時に急遽同地に出張取調べたる道第三部の岡本高等警察課長は語る『九月十五日奉天城内大成旅館に於いて鮮人

田誠忍の携帶せる爆彈が破裂して田は即死した此急報に接して自分は急遽出張取調べたが本件と南大門爆彈事件とが直接關係あるものとは思はない寫眞中（一）は鍛鐵製ニッケル鍍金で二十個の内十三個は支那官憲が押收した相で是が其一つである（二）は約十個押收した相である是れは

鉞力鑵の中に入れたもので（三）は眞鍮製權の實形のである何れも硝子管に硝酸を入れピクリン酸と多數の彈片とを包んだもので其威力は非常なものらしい然し姜宇奎が南大門で投げたのは曳出し式爆彈上部に抽……

爆彈のいろ〳〵（記事參照）

正犯人
姜宇奎は豫審の結果明瞭となる

南大門驛頭の爆彈犯人姜宇奎の連累者として既に檢擧せられたる數名は最早證據充分にして動かす可からざるものあれば過日檢事局より京城地方法院豫審に送られ目下取調中なるが本件の正犯人が姜宇奎なることは益々明瞭となるに至れりと

安心田書伯
二日午後二時逝く

京城府小北門氏と共に朝鮮書畫界の雙璧と並び稱された心田安中植氏は二日午後二時清進洞自宅に於て逝去せり享年五十九氏は京城の生れ十三歳にして早く孤となり二十一歳の時支那に留學し深く書畫の道を研め其後屢々支那に渡り日本内地をも遊覽し四十二歳の時舊韓國皇帝皇太子の御眞影を謹寫したる事あり明治四十四年李王職に於て書畫美術會を組織するや擧げられて講師長となり大正七年書畫協會長に就任し今日に至る人格崇高なる筆一世を風靡し其死を惜まざる人無し遺族は未亡人李氏と嗣子珠璇氏（七）外四名の孫子あり門下又數十名に達す

蕾の如な紅唇から
十歳の少女照子孃語る　『私の見た金剛山』

豫言者宮崎忠之助氏の愛子照子孃は二日午後日の出校講堂に開かれた講演會に父宮崎氏と共に出席して僅か十歳の可憐な少女は講壇にきつしり詰つた聽衆に向つて些の臆する氣色もなく肩に垂れた頭髮を搖がせながら金剛山探勝の感想に就て左の如く述べた

私は金剛山の景色が非常に雄大な崇嚴なものであると聞きましたから何時か此方に參りました時に會を見て

お父樣と一緒に金剛山を見に行つたのでありました、そして其の實際の景色を見ると世間で云はれて居る通り中々立派なものでありました。美しい溪流に沿ふて大きな岩があつて、綠葉紅葉などが其の中に混ざつて居る態は恰度

美妙な音樂の氣分を表現したとも云ひ度い樣であります。溪流の青い水の中には澤山の美しい岩があつて水の爲めに綺麗に見えて居りました斯う云ふ景色は世界に其の一部一部あるが

山全體あの大きな山全體があゝ云ふ崇嚴な美妙な景色に蔽はれて居る所は世界に珍らしいと云はねばなりません。

紅葉時は秋を見たのですが紅葉の時の方が夏の景色よりも一層好いだらうと考へました。そうして十月から後になると寒くつて迚も行かれません。兎に角一度彼處へ行つて一箇月許りゆつくり見ていらつしやるが宜しい。私が何故是れを皆さんにお勸めするかと申しますと、それはあの宇宙の

大精神の表現の如き金剛山に行つて其崇嚴なのを見て崇嚴な氣分に浸り又其雄大なのを見ては自分自身も雄大な心を持つ樣に、精神修養のために是非一遍金剛山を見にいらつしやるのが賢いことであらうと思ふからであります

無意味に唯だ美しいから見物にお出掛になるといふのではありません。精神修養の爲めにお勸めするのであります。

送別歌留多會

なか〳〵の盛況……會を極めたるが競技優勝者に……

故橘氏社葬

故橘香橋氏の葬儀は五日午後……

浦賀船渠燒く

朝鮮情話

戀の李文姬（1）
波瀾重疊たる半生涯　水草の如く流轉して

突如安東縣に　―返り咲きの花ひと本―

天長祝日の翌日であつた。私が社に出ると机を向ひ合せてゐるN君が嬉々として

『貴郎は李文姬を御存知でしたね、又安東縣から出たやうですよ』と云つた。李文姬―それは數年前から國境より滿洲各地にかけて俠艶の名を謳はれてゐた妓生である。

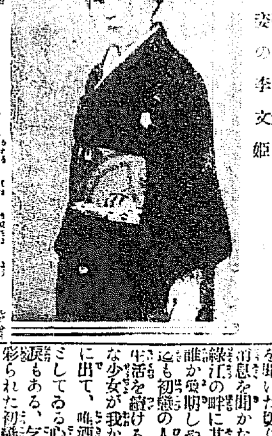
『ほほう安東縣から？、新義州ではない、鴨綠江を隔てゝゐるとは云ひながら、再び古巢に戻つた譯ですね、そして何處から出たのです？』

と反問するとN君は安東縣の新聞を私に示して

『御覽なさい、由良之助から出たと廣告してゐます』と金緣目鏡を拭ひながら、意味ありさうに微笑み

『あの女の半生は隨分變化がありますね、一つロマンスでも書いては奈何です、僕も安東縣に行つたものです』と云つた。實際、其の頃李文姬の名は國境に冠たるものであつた。態々滿洲から通つた男もあつた。其の表情に富んだ眼眸、其の透き通るやうな色白の豐頰、其の艶々した綠の黒髮―おのづから男の心を嗾るやうな姿を見ては溷男の群が彼女を擁して春宵の一夢に五十金百金を投ずるのさへ敢て惜しいとは思はなかつた。併し彼女が全盛期は明治四十五年から大正二年にかけての新義州時代であつた。其の後彼女は死ら水草の如く風吹く儘に轉々として各地に其の豔麗な姿を出没させてゐた。奉天、大連、青島、遼陽、長春―と彼女の足跡は滿洲はおろか遠く山東半島にまで及ぼしてゐる。數年前長春で彼女を見たと云ふ風の便りを聞いた切り、其の後杳として消息を聞かなかつたが、再び鴨綠江の畔に其姿を露はさうとは誰か豫期しやうぞ、彼女はいつ迄も漂泊の生活を續けるのであらうか、十七八の少女が我から求めて漂泊の旅に出て、唯酒のみを唯一の慰藉として居る心の奥には血もあり淚もある、乞ふ彼女が紅い淚で彩られた初戀のページを繰らう。

云ふのを忘れたが彼女は平安北道江界郡江上洞の生まれである。其の豐麗な容姿は今年二十九の女とは見えなからう。それ丈彼女の少女時代は又無い艶であつた。



御殿姿の李文姬

釜山の野球戰

釜山稅關對釜山中學野球戰は卅一日午後三時より釜山大正公園に於いて木原・猪河野兩審判にて開始稅關軍絶えず優勢を持續し結局六對零のスコアにてコールドゲームと稅關軍大捷す

東亞軍捷つ

對東亞煙草庭球戰は三十一日午後四時より東亞煙草コートに於いて擧行朝鮮銀行軍を擊退したるも東亞軍の伊藤保田組孤軍奮鬪し遂に東亞の勝利に歸したり

東專軍大捷

醫學專門學校對東洋協會の野球戰は二日午後二時より龍山鐵道公園に於て東洋協會は應援團多數に擁せられ鳴物入りにて入場……結局十四A對七と云ふ大スコアにて大敗せり

京日案內

京城永樂町二　自動車　一四七　榮洋行

店員募集　京城本町二丁目　江州屋本店

年金恩給　京城永樂町二　看護婦及見習　佐藤病院

女事務員　土木建築會　京城長谷川町

手足人に急告　京城本町　高野製作所

荷馬車賣度し　小林讓

女工募集　京城府吉野町

移轉　京城府吉野町一丁目

朝鮮總督府遞信局購買組合指定店　京日代理部

山田文殊堂

防寒具一切

メリヤスシャツ通信販賣開始

急告〳〵急告
毛布　暴落買時
本毛製特別大判（防寒用優良品）金三圓廿五錢（茶、鼠、カーキ色）

一萬圓位の貯金は誰れにも出來る
高柳淳之助

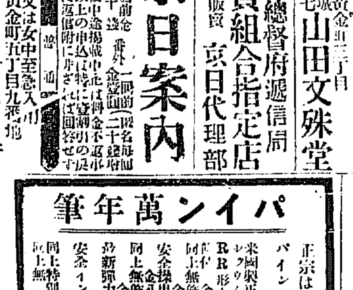
誰でも出來る自轉車修繕法

丸善ゼニスインキ

毎月一日休業　京城材木商組合

パイン萬年筆

正宗は切れるが故に名高く　パインは書けるが故に名高し



測量學速成講習錄

京城永樂町二丁目　酒井婦人病院　入院隨意　酒井一郎

寫眞の好季節！　秋を賞するものは寫眞器を措きて眞の滿足は得難し　東京本町二丁目　小西本店

十二指腸藥　袋屋藥局

夜の蜘蛛

（十四）　江見水蔭

銀線カフエーの女給使達から光さん〳〵と心安く呼ばれてゐるのは、伯爵の水上額之と云つて、貴族院中でも若手溌剌の牛耳を取り、新しい思想の人、非常に頭腦の好い人として知られてゐた。

けれども貴族院には、妙にカビ臭い空氣が充滿してゐて、新進の鋭鋒を不思議に威壓する傾向が無いでも無い。

それで、餘りに活躍を試みて舊態打破に突進した水上伯は、或る有力なる老大官から、警告を與へられたので、忽ち其の鋒を挫かれて了つた。

不平、と云ふ程でも無いが、快々として樂しまざる久し。一年は發狂したとまで誤傳された位に、多少自暴自棄的の行動も有つたのだが、それも此頃では醒する處が有つて、極めて穩健に歳月を送るといふ方針を取り、政事よりも社交に、それも極めて自由な空氣の下に、平民的社交界に顏を出す事が多く成つた。

今日、郊外に出て、田部谷附の奇禍を救ひ、彼をも此處へ同伴しようとしたのであるが、其處まで田部谷は蹤けなかつた。

『如何も極りが惡くツて、迚も僕の家へは當分行かれません。無論あの女は最うあの家には戻りますまいが。謁だこうも醜態でしたから……』と田部谷は恐縮して、五反田から伸で宿へ歸つた。

水上伯一人と成つて、此處へ來たのは、無論小糸がゐると思つてでは無いが。小糸が其後如何するか。今までの小糸に就いて何か發見する處でも有りはせぬかと、好奇心を滿足せしめる爲に他ならぬ。

自分も食事をし、獵犬にも食物を與へ。女給使が交り代り挿まへて、小糸の話を引出さうと試みたが、頗る氣味で一向問題に觸れさせない。

失望氣味の處へ新來の客が一人。

『おや、銃獵のお歸りですか』

と云ひつゝ卓子の前に廻つて來た。

丈の低い、横太りのした、顏の短刈りの洋服紳士。

『あッ、日立君か。恰度好い。僕一人なら一緒に遣りませう』

『結構ですな』

日立といふのは、直と椅子に着いた。

姓は日立、名は豆と云ふ、新聞記者を止めて、高等刑事に成つた事もある。今は自分で秘密通信社を經營してゐるので。それからそれへと蔭を手操るのが巧いので、飛彈の密渡しに比して、日立の密豆とまで文字られてゐる位。

『君に聽けば、何でも分るね。別して此銀座の夜を背景にしてバアやカフエーで光つてゐる女の身元來歷だね。大概君は暗記してゐるだらうね』と水上伯は話を持出した。

『先づ然ういふ處ですな。都合聞の杉崎大臣や、中部新聞の谷村汀西なんか、私の目からは甘いもんです。何處の女給使は、何處から通つて來て、其の回數券が今日は何枚に減じてるといふ程度まで知つてゐますからね』

『早速ながら此處に居る小糸……』

『おッと、それはお止しなさい。美しいのでは當時銀座の明星ですが、あれは大變な代物です』

『君は氣が早くッていけない。僕が何も小糸を贔屓にしやうといふのぢやア無い。彼の女の持つて來たスープでなければ、吸はないといふ程の熱心では決して無いので……』

『それなら宜しいのですが、あの小糸といふのは、前身が大變なんで……』

『歌劇女優だッてね』

『あッ、能く御存じで……』

『カルメン小糸と云つて、淺草の夢遊館とかへ出てゐたんだッてね』

『これは驚いた。貴郎の方が委しい』

『それが今日此處にゐないのだ。それで問題なのでね』

『分りました。それは分かりました。私も秘密通信社長日立豆です。ゐない譯は知つてゐます』

日報歌壇

凋める鉢の花　青木しげる（京城）

愛しさにひしと抱けばひんやりと悩み凋めるゼラニユームの鉢

×

愛しき鉢の、ための涙か ― 哀れ今日。灯火もなき夜寒の窓に

×

枝も葉も惱み凋めば詮すべもなければ空しき鉢の一もと

×

これやこの鉢に空しき殘骸よ哀れと云ふもよしなき涙

×

鉢ぬちの凋ふぬらし ― いざ逝れ、いざ逝れ汝が愛しさの涙に

日報俳壇

■蛙管詠草（慶南南海島）

○

炎の宵に海の夕日や鰯雲　拓川

傳いぢる蘇や夜長の讀書人　雲

山鳴りに住める温泉宿の柚味噌哉

山居馴れ心伸ぶ香の柚味噌哉

甲勞の焚火に募る野分哉

監獄のうつろ木高き野分哉　玉泉

○

荷揚げをしむ人夫の唄や鰯雲

二階降りてまどゐに入る夜長人　病院にて

○

水碎く音厩す夜長かな　青

塀の内に畑ありけり唐辛子　燕子

○

相撲ひ居る裸の兒等や鰯雲　燕

柚味噌焼く匂ひに動く蒼花哉

唐辛子干せる廊に小猫かな

○　水

帆柱に鰯雲垂れて鬪かな　哉

菊植うや裸硯を石の上　骨

柚味噌をつゝく僧俗一人かな

○　魚

柚味噌や世に拗ね住める野の一廬　子

警察の敗地に荏れぬ唐辛子

網を卸して太鼓打つ舟や鰯雲　水

○　春

菊貰ふて妻は中途に歸りけり

留守訪ふ木戸に挿置く黄菊哉　島

○　千

雞魚丹が碇上げけり鰯雲

冠を排けて句に生く柚味噌哉

山寺の一夜かしき野分かな　梅

病む鷄に唐辛子水呑ましけり　郷

○

相用意に賑ふ磯や鰯雲

旅籠屋の門叩き居るや夜長人

○　與々多

宿題を解き兼て長き夜なら

鵜島の高く翔るや鰯雲

■山城吟社詠草（公州）

○　空

菱の花に高樓暗く映りけり

鵲捨てに人來る沼や行々子　佛

○　一

金魚に動く臓や夏の朝

菱咲くや舟に火を焚く水門口　妙

○

露に研ぐ鎌の曇りや夏の朝

葭簾運ぶ眉目好き兒等菱の花

○

葭切や堰漏る水の渦巻ける　刀

菱咲くや土手高々と押す車　未

○　士

葭若き蓑魚や堤行々子

水門に渦巻く水や菱の花

○　華

葭切や草履穿きたる投網人

山百合や赤う塗られし稲荷堂

○　方

洲を狭みて町の淋れや行々子

水蓼に猶咲く菱や夕月夜　美

○

大蛾抱ける蜘蛛の曉や夏の朝

沼を臨みて電線高し行々子　孤

○　村

百舌の落走れる昔の微風かな

陽に映ゆるもの皆暑し菱の花　孤由

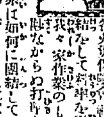
新刊紹介

▲國柱新聞（二六一）　犠牲住俠の批判、藤崎の人柱（田中智學）法華經解（保坂智宙）診察無料藥價三分の一乃至一五の國柱會師子王醫院（田中智學）鎌倉文化の研究（星野梅耀）日蓮劇の研究（たけし）奇蹟劇の浦（）其他壯快なる日蓮教宣傳の趣味ある記事多し（十五錢、東京下谷櫻木一師子王文庫）

▲演藝畫報（六の十一）　島居清忠氏の表紙畫、森春島氏の新假面満外に三色版二色版コロタイプ、カフセツト、アートタイプの新しき芝居を寫したる寫眞例によつて多數なり、記事には『寶』の研究（七名家）其他一流名優評傳芝居見たまゝ等好劇家の見逃がすべからざるもの多し（七十錢、東京京橋區南佐柏木町七演藝畫報部）

▲現代生活と婦人（山川菊榮著）　婦人問題を研究せし著にして、婦人運動、勞働組合、參政運動、婦人の健康、賣春婦其他に關する諸問題を捕へて眞面目に之を論究したるもの（二圓六十錢、東京手込區神樂町二の一叢文閣）

▲和譯聊齋志異（柴田天馬譯）　支那怪奇小説中の粹と稱せらるゝ『聊齋志異』の一部を平易簡明に和譯したるものにて支那思想獨特の神經なる面白き物語、此の書を讀まば婦人小兒と雖も解し得べし全卷三十餘篇の奇談神話は何れも秋夜燈火の好讀物に非ざるは莫し（二圓二十錢、東京芝公園玄文社）



○朝鮮に於ける内地各火災保險會社が聯合一結して料率を引上げ我々家作業のものは困り候從來は如何に團結しても内地ならぬ打算を享け多少の割引を爲したるが今回は一さい割引せずと發表有之恰も官營なるかの感あり斯る公益的の業を彼等の恣に料率を引上げ庶民をしめるは甚だ怪しからぬ須らく總督府政治下に營業を爲す以上官辦御干渉あり度ものなり（家作業代表）▲年度入營者に告ぐ入營豫備智識の備書として有益なる『入營前後の心得』を實費十八錢にて配本するに付希望者は京城府内務係へ申出られたし（兵事掛）▲二十五年の青年より或る官廳に貴下の希望する就職口あり初音町四八津村新聞店迄至急御來訪あれ（通心生）▲エッツス氏は身は教職にありながら徒酒に耽り當局で聽許することはチト考へ物でせうな早に汲にします（倂）▲私は腦病の診斷にはヘエイツと云ふ[illegible]病氣にて早四ケ月位種々手當を致しましたが今に根治せず困却致し居り[illegible]

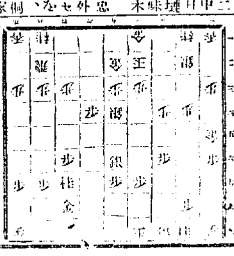
將棋新手合（第[illegible]）

飛落　△京城湖月　木光治（六段）　▲龍山　林　長吉（二段）

於京城若草町九十二番地

（圖は前號指了迄の局面）

△持駒　角



△一五歩▲八四歩△四八銀▲八五歩△五八玉▲八六歩△同歩▲同飛△八七歩▲八二飛△四六歩▲七四歩△四七銀▲七五歩（八）△六六角▲三三銀（二）（以下次號）

滿呂木六段講評

▲（八）七五歩突き（此處三三歩）と指し七五歩の味を殘し著しく上手方六七金打らなれば末に指ましく

▲（二）三三銀上りは惡し此處三三[illegible]と打つ方指ましも

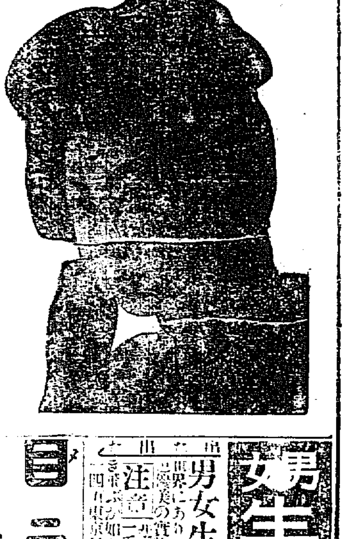
懸賞詰將棋解答（第二回）

△正解　二二金打同玉　二一角打同飛　二一角成同香　二三金打　一一玉　二二銀打迄十一手也

▲正解者　京城山井孝理、熊本友雄、開井竹次郎、大村精一、生駒義一、平須不二男、井上直太郎、高間開八、穴見宗賀雄、羅山未晩、木下清吉、重政順一、牧野政一△龍山香月米次、不破家登彌、白松榮一、筏田青馬、中井登太郎△水原山本伊助、毛利英治郎、池金孤狂△令壞長谷川生、木多哲治、今田世住△木浦松本武正、河西哲吉、松本島城△仁川小田楠吉△永登浦宮島宇太郎△鎭南浦黑木重之△釜山浦和川小八△榮山浦富士多五柱△江東郡大師堂仙三郎△大邱檢居春治△忠淸郡田中聡之助、山本健次△元山岸本利茂△統營長岡源次兵衛△安州松本木公子△黄海船橋兼次郎△永興竹内三カ△釜山井口宋市郎△路下驛佐藤文之助△批城江川彦四郎△長春前田酒朵△遼陽エスエイ

▲入賞者　抽籤の末木浦の松本氏を入賞者と定む

染めたと見えぬ髪の染め方



㊙時間のかゝらぬ　美事な染め方

人様に不意に誘はれて、行き度くはあるが併し髷を綺麗な頭髪に結つて行き度いが扨て髪を結ふ丈けで爲る時間なぞは無い……と斯う云つた場合が御交際の廣い婦人方には屢くあるものですが、そんな時一走り女中さんにお藥店か化粧品店へナイスを買ひにおやりになつて、待つ間の暇に其のナイスでお染めになれば、髪は正味二十分間で、それは〳〵美しい、かうして少しも惡くらしくない、持つて生れた美い髪の毛と同じ色に染ります。正味二十分間時間がかゝらぬと言つて、然し斯樣なのは外には確にありません。

㊙色の剝げない　眞實の染め方

從來の毛染劑は前に言つた染まる時間と染まつた色に於て不完全であつた上に、また染色の保ちが惡かつたものです。それは染めた色が枕とか、着物の襟とか、何でも彼でも髪の毛の觸る所へ其の染め色が附くからです。斯ういふ染毛劑で染めたら不愉快誠に此上ありませんが、ナイスで染めると那麼心配が毫頭ありません。石鹸で洗つても色が落ちない程ですから、況して襟や枕に附く樣な事は無く、從つて一度染めれば隨分長く自然性來の美い髪同樣の美しい染め色を保ちますから、ほんとに經濟に調法な染毛劑はありません。

㊙手數のかゝらぬ　衛生的染め方

頭に腫物が出來てゐる時、腫物の跡の治りきらない時、斯ういふ時には決して染毛劑を使つては不可ません。これ丈の注意をお採りになつてナイスをお用ひになれば、衛生上には少しも無く、自然の黒髪の樣に染まる上にも、毛の質を良くするといふ作用もあります。從來の染毛劑は兎角毛の爲めに惡いのがあつたのですが、ナイスは全くそれ等とは反對です。それから染めるのに些とも手數が要らず、誠にわけ無く染められるので、餘り當世の物をお喜びにならぬ御隱居樣方も染毛劑は大方ナイスです

㊙自然の黑髪　同樣の染め方

是は前にも言ひましたが、髪の染まつた色澤が充分で無かつたり、或は父髪に見こらしい色澤があつたら誠に見つきも無い譯で、染めた甲斐もありません。從來の染毛劑は此色澤が殊に不完全であつたのですが、ナイスなら其邊の心配は少しも無く人間らしい髪の毛、それも親の腹から美い髪の毛を有つて生れ出たやうな、然ういふ自然の美い髪其儘の色艶に染まりますので、凡そ髪を染める程の方でナイスをお用ひにならぬ方は無いと言ふ程です。

㊙毛癖を矯正す　兩得の染め方

殊にナイスはしらがや赤毛を立派に染めると同時に、縮れ毛や癖の多い髪が、サラリとして美しうのんびりと惡い毛癖を矯正す作用があります。ですから縮れ毛で困る人は皆ナイスで癖を治す方が多くなりました。價は大瓶七十錢小瓶四十錢男子用三十錢、發賣元は大阪心齋橋、東京日本橋區箔屋町、の丹平商會で各藥店化粧品店で取次いで居ります、しらが染を使ふならナイスといふ事を毎も覺えてゐて下さい。

男女生殖器圖解寶鑑

男女生殖器對的狀態製造の妙技　極彩色珍卷繪

世界にありふれた生殖器全部を大家苦心の結果彩色にして解り易い説明を大膽赤裸に加ふ。

注意　二千名に頒布す此際奮つて特價五百錢六十五錢を添へ東京法進堂行

一圓 東京淀橋柏木 振替東京四五四九八へ申込あれ

目ニ見エテ

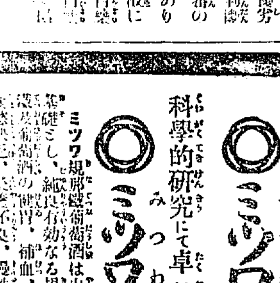
ズン〳〵トキク

シマズイタマヌ

井上博士ノ

ロート目藥（クスリ）

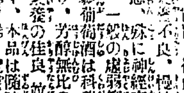
ソレコノ通リ



比較は一

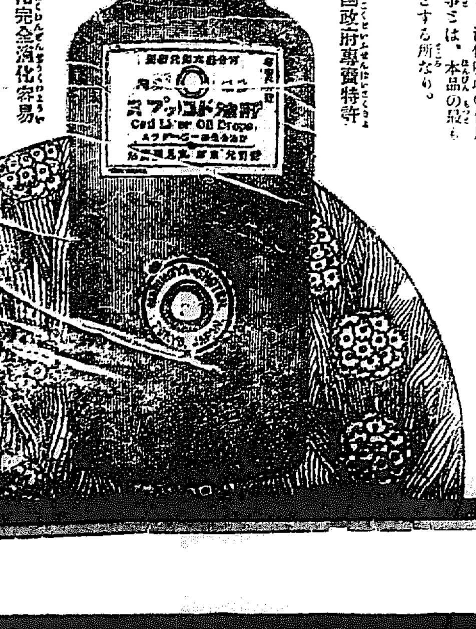
品質の優劣良否を判斷する一滴の早道であります、試にロート目藥と他の目藥と御比較下さい

眼病を不潔の手巾等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には下圖の如き消毒した布を添へてゐる



〇點眼器

發賣元　本舗　山田安民藥房　山田安民藥房



◎肝油ドロップス

美味無臭容易に定量の肝油を食用すべき

◎肝油ドロップス

◎複方肝油ドロップス

定價　五十顆入一罐金九十錢　百二十顆入一罐金一圓八十錢　複方百顆入一罐金一圓八十錢（內地以外は郵税運賃を加ふ）

肝油は古來卓効ある滋養劑として賞美せられど其特有の臭味甚だ不快にして消化亦困難なるが故に、其服用を嫌忌せらるるを慨し、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及可溶性含窒素物を配合し、一顆毎に精製肝油の含有量を正確にし、乳化完全、消化吸收最も容易なる、美味無臭の『肝油ドロップス』を創製す。本品は普通の菓子同樣容易に食用し得る事と、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり。

本邦及英米國政府專賣特許

美味無臭乳化完全消化容易

香味色佳良滋養力偉大

健胃補血興奮作用卓絶

風味高潔清和滋養豊富

元氣增進興奮作用優秀

◎ミツワ規那鐵葡萄酒　定價金壹圓七十錢

芳香醇良なる本邦産純良葡萄酒を基礎とせる

◎ミツワ人參葡萄酒　定價金壹圓八十錢

科學的研究にて卓効を認められし人參を配合せる

ミツワ規那鐵葡萄酒は山梨縣宮崎葡萄酒醸造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て精製し、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、食慾不振、消化不良、慢性の下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並病後の衰弱、一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

ミツワ人參葡萄酒は科學的研究を經て、效力卓絶なる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の補葡萄酒に配合したるものにして、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並身體の強壯を齎らし、精神の困憊並筋骨の疲勞を除く。本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

（內地以下は郵税運賃を加ふ）

丸見屋商店　東京市日本橋區本町四丁目　振替東京七一〇番　電話特長浪花三〇・四・二八・四四九・四五〇・三〇〇〇番